Pioneer sound.vision.soul

DVD 5.1ch サラウンドシステム

HTZ-323DV

DVD ビデオのリージョン番号

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには発売地域ごとにリージョンNo.(地域番号)が設けられています。海外で購入したDVDビデオディスクは、リージョンNo.の違いにより再生できない場合があります。本機のリージョンNo.は「2」です。

再生できるDVDビデオディスクのリージョン表示の例)   など

DVDレコーダーをお持ちのお客様へ

ファイナライズしてから再生してください

DVDレコーダー

DVD-R/-RW
ディスク

本機

※DVDレコーダーのビデオモードで記録したDVD-R/-RWディスクを本機で再生するときは、ファイナライズ(録画終了処理)してください。

インターネットによる登録のお願い

http://www3.pioneer.co.jp/

お買い上げの製品について、上記URL「お客様のページ」でお客様登録をお願いします。

この「お客様のページ」は、お客様とのコミュニケーションを目的としたウェブサイトです。新規登録されたお客様にはID・パスワードを発行させていただき、新製品のカタログや取扱説明書のダウンロード、メールマガジンの購読など各種サービスをご利用いただけます。

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」「安全上のご注意」は、「保証書」「修理窓口・ご相談窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意(絵表示について)

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

警告[異常時の処置]

プラグを抜け

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源の供給を完全に停止する為には、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置してください。

プラグを抜け

● 機器本体のSTANDBY/ONボタンで電源を切っても、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止する為には、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには安全の為必ず電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

プラグを抜け

⚠ 注意

● 表示部が消えていても電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止する為には、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには安全の為必ず電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

プラグを抜け

❗ 本機の放熱について

● 本機を設置する場合には、壁から１０ｃｍ以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置して下さい。ラックなどに入れるときには、本機の天面から１０ｃｍ以上、背面から１０ｃｍ以上、側面から１０ｃｍ以上のすきまをあけて下さい。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

もくじ

さっそくDVDを再生しましょう！ …………… 6

1 はじめに

2 ディスクの再生

3 ラジオを聞く

4 いろいろな機能を使う

5 サラウンド再生

6 タイマーを使う

7 DVD の初期設定

8 サラウンドの設定

9 システムの設定

10 他機器の接続と設定

11 その他

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

さっそくDVDを再生しましょう！

1 テレビの電源を入れましょう

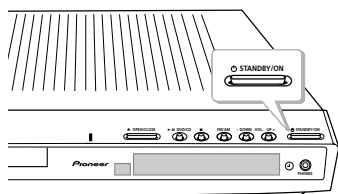
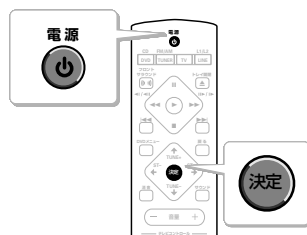
テレビのリモコン、またはテレビ本体の電源ボタンで電源を入れます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

2 テレビの入力を切り換えましょう

テレビのリモコン、またはテレビ本体の入力切換ボタンで切り換えます。例えば、本機をテレビのビデオ入力2端子に接続したときはビデオ入力2を選びます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

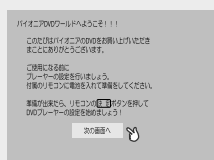
3 本機の電源を入れましょう

本体の⏻STANDBY/ONボタンを押す。

または

リモコンの⏻電源ボタンを押す。

テレビ画面に下記のように表示されれば映像の接続はOK!

① まず[Pioneer]が表示されます。

⬇

② 次に下記の画面が表示されます。

③ リモコンの**決定ボタン**を押して **4** に進みます。

Q&A

Q1: 電源が入らない！

→ 電源コードが正しくコンセントに接続されていますか？（システムセットアップガイド）

Q2: 映像が映らない！

→ ビデオコード(黄)が正しく接続されていますか？(システムセットアップガイド)

→ テレビの入力切換を合わせましたか？接続したビデオ入力に合わせてください。

→ 映像出力端子、またはS1/S2映像出力端子にのみ接続しているときに**[プログレッシブ]**を選択していませんか？（表示窓の**[PRGSVE]**が点灯していませんか？）。60ページを参照して、**[インターレース]**に切り換えてください。

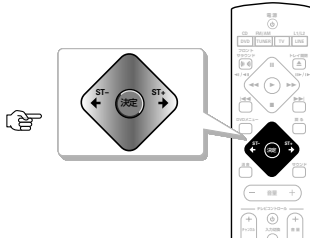
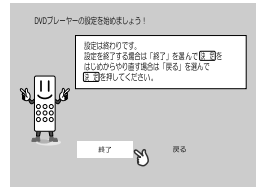
Q3: リモコンで操作できない！

→ 本体との距離が離れすぎていませんか？約7mの範囲でのみ操作することができます。

→ リモコンをテレビに向けて操作していませんか？本体のリモコン受光部に向けて操作してください（16ページ）。

4 テレビの種類を選びましょう

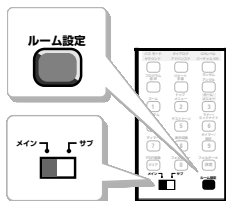
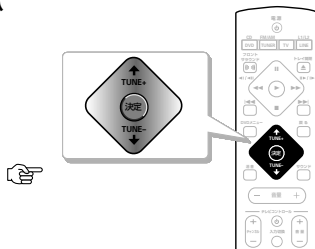
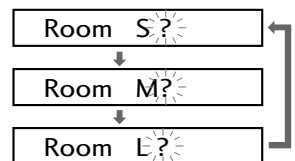
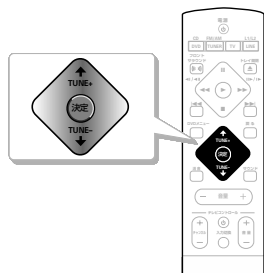
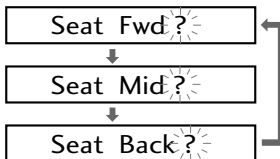
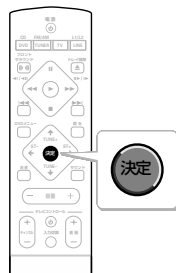
お使いのテレビが[ワイドテレビ（16:9）]か[普通のテレビ（4:3）]かを選択します。

リモコンの ⇦⇨ で選択。
決定ボタンで次の画面へ。

リモコンの ⇦⇨ で選択。
決定ボタンを押して終了します。

メモ

- [*DVDプレーヤーの設定を始めましょう！*]の画面は、一度設定すると次に電源を入れたときは表示されません。
- [*DVDプレーヤーの設定を始めましょう！*]の画面終了後にテレビの種類を変更したいときは、初期設定の**[テレビ画面]**（59ページ）で設定してください。
- **[戻る]**を選んでから決定ボタンを押すと、最初の画面に戻ります。
- ディスクの再生が終了してから、本体またはリモコンを５分以上操作しないとテレビ画面にスクリーンセーバーが表示（[Pioneer]がランダムに表示）されます。再び操作を開始すると、スクリーンセーバーは解除されます。

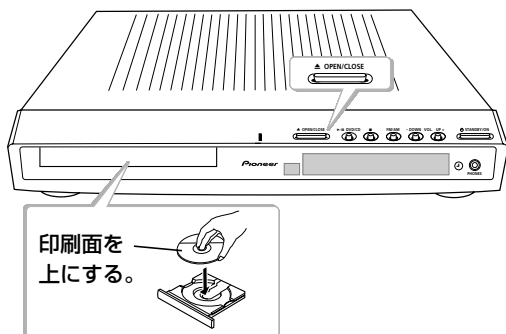
5 ルーム設定をしましょう

視聴位置のすぐそばに置いたスピーカーと遠いところに置いたスピーカーとでは、そのスピーカーから聴こえる音のタイミングや大きさにズレが生じ、適切なサラウンド効果を得ることができません。ここでは３つのサイズ（S、M、L）の中からご自分の部屋に近いサイズを選び、さらにリスニングポジションの設定でFwd、Mid、Backの中からご自分のリスニングポジションに近い設定を選びます。選択できる部屋のサイズの目安はSが約６畳、Mが約12畳、Lが約18畳です。リスニングポジションの設定では、フロントスピーカーが近いときはFwdを、すべてのスピーカーがほぼ等距離のときはMidを、フロントスピーカーが遠いときはBackを選びます。

メインサブ切り換えスイッチをメインに切り換えてからリモコンのルーム設定ボタンを押す。

決定ボタンを押してからリモコンの⇧⇩で S、M、Lを選択。決定ボタンでリスニングポジションの設定（次ページ）へ。

⇧⇩を押すごとに下記のように切り換わります。

メ モ

- ▼ ここでは実際に、各スピーカーまでの距離と各スピーカーの出力レベルを変更しています(67、70ページ)。これらの項目をさらに細かく設定することにより、より快適なサラウンド空間を作り出すこともできます。この場合ルーム設定は無効となります。
- ▼ 設定後にもう一度**ルーム設定ボタン**を押すことで、現在のルーム設定を確認することができます。確認中に**決定ボタン**を押すと再びルーム設定のモードになります。

6 DVD をセットしましょう

本体の ▲OPEN/CLOSE ボタンを押す。

ディスクテーブルが出てきます。図のようにDVDをセットしてください。

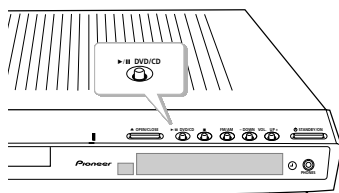
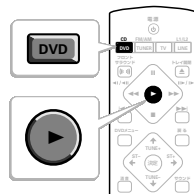
DVDをセットしたら、本体の**▲OPEN/CLOSEボタン**を押して、ディスクテーブルを閉めます。

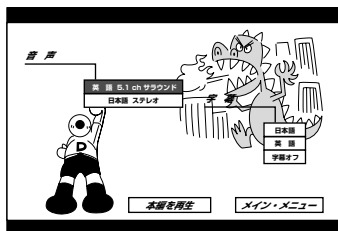
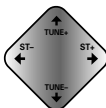
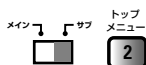
メ モ

- ▼ ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始める DVD もあります。
- ▼ 本体の **▲OPEN/CLOSE ボタン**を押して電源を入れることもできます。
- ▼ 本機を5分以上操作しないとテレビ画面にスクリーンセーバーが表示([Pioneer]がランダムに表示）されます。再び操作を開始すると、スクリーンセーバーは解除されます。

7 それではDVDを再生しましょう！

本体の ►/II DVD/CD ボタンを押す。

または

リモコンのDVD/CDボタン、
または ► ボタンを押す。

DVDのメニュー画面が表示されたら・・・

再生を始めると最初にメニュー画面を表示するDVDがあります。メニュー画面の内容や操作方法はDVDによって異なりますが、基本的な操作は以下の通りです。

- 映画などのDVDのメニューでは、お好みの音声や字幕などを選択することができます。DVDによっては、本編再生中に本機のリモコンで音声や字幕を切り換えることもできます。（12～13ページ参照）

リモコン	基本的な操作内容
	画面上で選択する項目を、上下左右に移動するときに使用します。ただし、ズーム（42ページ）で映像を拡大しているときは、項目を選択することはできません。
	選択した項目を、決定するときに押します。
	再生中などに、DVDのメニューを表示させるときに押します。
	DVDのメニューで、前の画面に戻るときに押します。
	階層のあるDVDのメニューで、最初のトップメニューに戻るときに押します。

Q&A

Q ：ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。または、再生ができない！

→ DVDがディスクテーブルに正しくセットされていますか？
→ DVDが汚れていませんか？ DVDをクリーニングしてください。
→ DVDの表裏が正しくセットされていますか？
→ リージョンNo.が一致していますか？本機で再生できるリージョンNo.は「2」と「ALL」のみです。（87、90ページ）
→ 本機の内部に結露が付いている可能性があります。結露を除去してください。（101ページ）

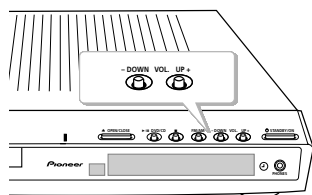
メ モ

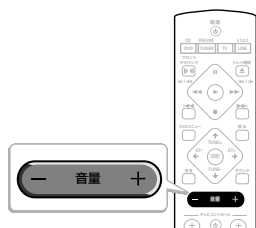
- ▼ 画面の上下に帯がつく DVD があります。本機の故障ではありません。
- ▼ DVD のメニューによっては、リモコンの数字ボタンで番号を選んで再生できるものもあります。

注 意

- ◆ 2 層（Dual Layer）の DVD の場合、1 層から 2 層目に切り換わるポイントで、一瞬画像が静止することがあります。

8 音量を合わせてみましょう

本体の VOLUME を押す。
大きくするときは UP 側を押し、小さくするときは DOWN 側を押します。

または

リモコンの音量を押す。
大きくするときは＋側を押し、小さくするときは－側を押します。

❓ Q&A

Q1：音が出ない！
→ ボリュームを上げてください。

Q2：フロントスピーカーとサブウーファーからしか音が出ない！
→ 接続が正しくされているか、別紙の**「システムセットアップガイド」**を参照してください。
→ **サラウンドボタン**を押して、マルチチャンネル再生に切り換えてください。（46 ページ）

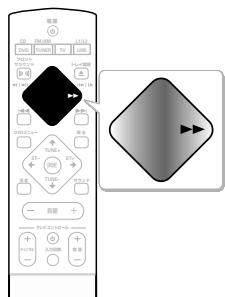
9 ちょっと場面を進めたいときは早送りしましょう

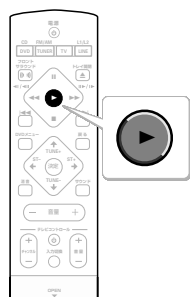
リモコンの ►► ボタンを押す。

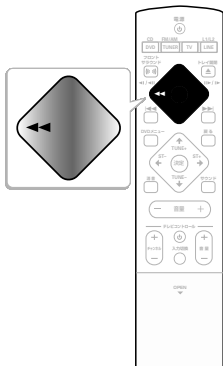
1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ►►]とテレビ画面に表示されます。

⬇

2 回押すと･･･もっと速い
[スキャン 2 ►►]とテレビ画面に表示されます。

⬇

3 回押すと･･･さらに速い
[スキャン 3 ►►]とテレビ画面に表示されます。

見たい場面まで進めたら ► ボタンを押す。

10 ちょっと場面を戻したいときは早戻ししましょう

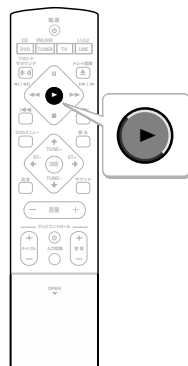
リモコンの ◀◀ ボタンを押す。

1回押すと・・・速い
[スキャン 1 ◀◀]とテレビ画面に表示されます。

⬇

2回押すと・・・もっと速い
[スキャン 2 ◀◀]とテレビ画面に表示されます。

⬇

3回押すと・・・さらに速い
[スキャン 3 ◀◀]とテレビ画面に表示されます。

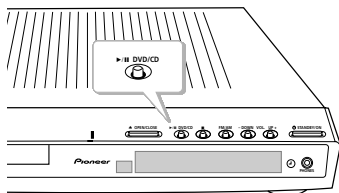
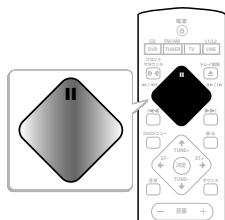
見たい場面まで戻したら ▶ ボタンを押す。

メモ

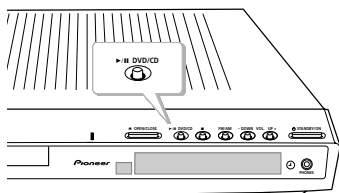
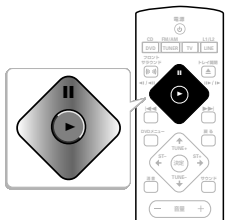
▼ ◀◀/▶▶ を押し続けるとスキャン1の速さで早戻し/早送りを行います。この場合、見たい場面になったら ◀◀/▶▶ を離します。

11 ちょっと休憩というときは一時停止しましょう

本体の ▶/II ボタンを押す。

または

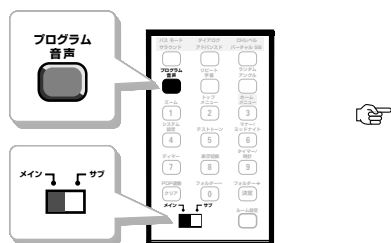
リモコンの II ボタンを押す。

通常の再生に戻すときは本体の▶/IIボタンを押す。

または

リモコンの ▶、または II ボタンを押す。

12 字幕スーパー版の映画を吹き替え版にしましょう（お好みの音声と字幕に切りかえる）

DVDの中には、複数の音声と字幕が収録されているものがあります（ディスクによって収録されている言語数は異なります）。
ここでは英語と日本語が収録されているDVDビデオを吹き替え版に設定する例を説明します。
DVDによっては下記の操作で音声や字幕を切り換えられないものがあります。このようなときはDVDのメニュー画面で切り換えてください。（9ページ）

音声を切り換えるには

ここでは英語で聞こえる音声を日本語にします(もちろん複数の言語が収録されているDVDビデオでは他の言語を選ぶこともできます)。
音声が二重（二か国語）で記録されているVRモードフォーマットのDVD-RWの場合、音声の切り換えは**リモコンの音声ボタン**では切り換えられないので「デュアルモノの設定」（68ページ）をご覧になって切り換えを行います。

DVDを再生しているときに 、メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えた後、リモコンの音声ボタンを押す。

一度押すと現在再生している音声を表示し、表示中に押すと、以下のように切り換わります。

例 DVDビデオの音声切換画面

＊ 3/2.1CHはディスクに記録されている音声のチャンネル数です。詳しくは91ページをご覧ください。

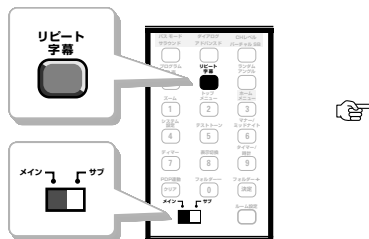
Q&A

Q ：マルチチャンネル再生にならない

→ **サラウンドボタン**を押して、お好みのモードを選んでください。（46ページ）

字幕を切り換えましょう

音声の切り換えでセリフを日本語にしたので字幕はオフを選びます（もちろん複数の言語が収録されている DVD ビデオでは他の言語を選ぶこともできます）。

DVD を再生しているときに、リモコンのメインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えたあと、字幕ボタンを押す。

一度押すと現在再生している字幕を表示し、表示中に押すと、以下のように切り換わります。

＊ 字幕が収録されていないときは[– / –]が表示されます。

メ モ

▼ ここで切り換えた音声、または字幕の設定は、下記のようなとき初期設定（61 ページ）で設定した状態に戻ります。
⇨ リジューム機能を解除したとき
⇨ DVD を取り出したとき

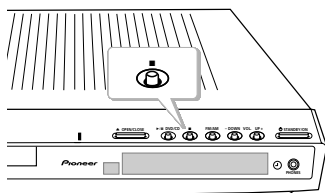
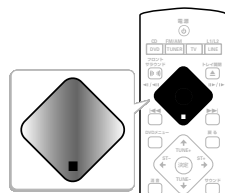
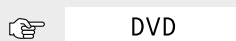
▼ 再生中の DVD によっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。

それでは思う存分 DVD の世界を楽しんでください！

13 DVD を停止しましょう

本体の ■ ボタンを押す。　　**リモコンの ■ ボタンを押す。**

■ ボタンを 1 回押すと表示窓に･･･

Stop ➡ Resume

･･･と表示され、停止した場所を記憶します **(リジューム機能)**。次に再生したときは停止した場所から再生します。DVDを取り出すとラストメモリー機能が働きます。次回、そのDVDを入れて **► ボタン**を押すと、取り出す前に停止した場所から再生を始めます。

停止中に**■ボタン**をもう一回押すと表示窓に･･･

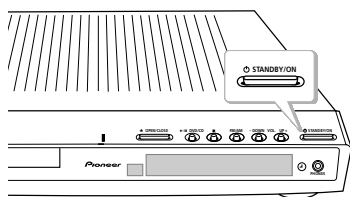
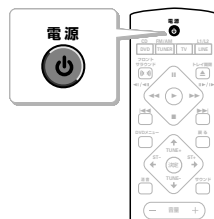
DVD

･･･と表示され、リジューム機能またはラストメモリー機能が解除されます。次に再生したときは DVD の最初から再生します。

メ モ

- ▼ 本機はDVD5枚分の停止した場所を記憶できます。5枚を超えると一番古いメモリーから消去されていきます。
- ▼ VRモードで記録されたDVD-RWでは、ラストメモリー機能は動作しません。

14 本機の電源を切りましょう

電源を切る前にDVDを取り出しましょう。本体の **▲OPEN/CLOSE ボタン**を押して、ディスクテーブルを開けてから取り出します。

リモコンの⏻**電源(本体の⏻STANDBY/ON)ボタン**を押すと表示窓に･･･

`Good Bye` ･･･と表示されます。

メ モ

- ▼ 電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の[Good Bye]表示が消えていることを確認してください。[Good Bye]表示中に抜くと本機の設定がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。

本文中の表記について

この取扱説明書では以降、本文中に記号が記載されています。記号には次のような意味があります。

- **DVD-Video** 市販のDVDビデオ、またはビデオモードにて記録されたDVD-R/RW
- **VR DVD-RW** VRモードにて記録されたDVD-RW
- **Video CD** ビデオCD
- **CD(R/RW)** 市販の音楽用CD、またはCDDAフォーマットで音楽が記録されたCD-R/RW
- **WMA/MP3** WMAまたはMP3ファイルが記録されたCD-R/RW
- **JPEG** JPEGファイルが記録されたCD-R/RW

再生できるディスクの種類

・本機は NTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
・下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

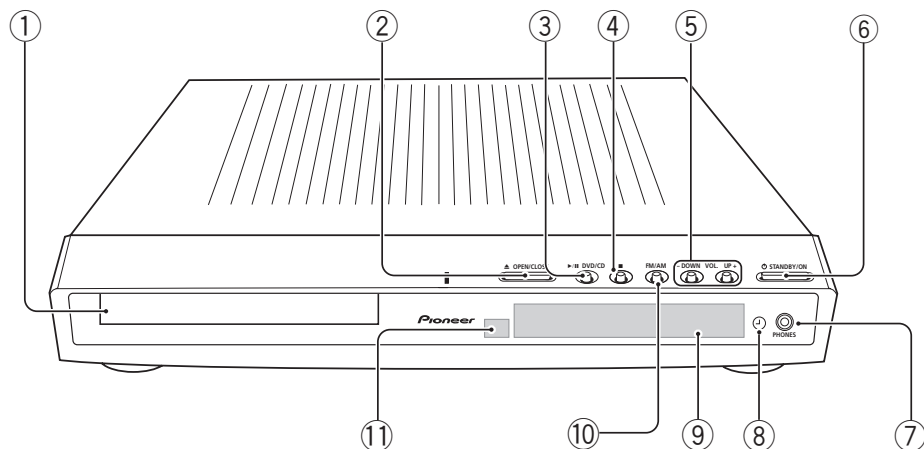
種類				
DVD	DVD ビデオ		DVD-R	DVD-RW
ファイル/フォーマット	DVD-Video		DVD-Video	DVD-Video VR DVD-RW
CD	ビデオ CD	CD	CD-R	CD-RW
ファイル/フォーマット	Video CD	CD(R/RW)	CD(R/RW) WMA/MP3 JPEG	CD(R/RW) WMA/MP3 JPEG
F-Disc（エフディスク）	(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです。			
フジカラー CD	：このマークは、富士写真フイルム(株)の商標です。			
コダックピクチャー CD				

コピーコントロール CD について

当製品は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

本機で再生できないディスクの種類

DVD オーディオ、DVD-ROM、DVD-RAM、SACD、CD-G、リージョン No. が「2」「ALL」以外の DVD ビデオなど

本体

① **ディスクテーブル**

② **▲ OPEN/CLOSEボタン**
ディスクテーブルを開閉します。

③ **▶/❚❚ DVD/CDボタン**
ディスクを再生 / 一時停止します。

④ **■ ボタン**
ディスクを停止します。

⑤ **VOLUMEボタン**
音量を調節します。

⑥ **⏻ STANDBY/ONボタン**
電源を入れます / 切ります。

⑦ **ヘッドホン端子**
市販のヘッドホンを接続します。インピーダンス16Ω〜50Ω（推奨32Ω)、直径3.5Φステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。

⑧ **タイマーインジケーター**
タイマーが設定されていると点灯します。

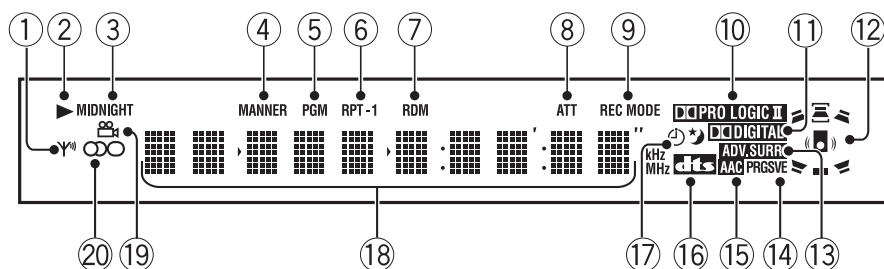
⑨ **表示窓**

⑩ **FM/AMボタン**
ラジオを聞いたり、AMとFMを切り換えます。

⑪ **リモコン受光部**
約7m左右30゜以内の距離から、ここにリモコンを向けて操作します。

注 意

◆ 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯から離してください。
◆ 表示部が消えていても電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには安全のため必ず電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜いてください。火災の原因になることがあります。

表示

① FM/AM放送受信時に点灯します。

② ディスクを再生中に点灯します。

③ ミッドナイトモードをオンにすると点灯します。（54ページ）

④ マナーモードをオンにすると点灯します。（54ページ）

⑤ プログラム設定時、または再生時に点灯します。(35ページ)

⑥ 全曲リピート再生時にはRPTと点灯し、1曲リピート再生時は、RPT-1と点灯します。(33ページ)

⑦ ランダム再生時に点灯します。(34ページ)

⑧ TV入力、LINE1入力でアッテネーターがオンのときに点灯します。（76ページ）

⑨ Rec Modeがオンのときに点灯します。（76ページ）

⑩ ドルビープロロジック II 処理が行われているときに点灯します。（46ページ）

⑪ ドルビーデジタル信号を再生しているときに点灯します。

⑫ 音が出ているスピーカーを表示します。ただし、ソースによってはすべてのスピーカーから音が出ているとは限りません。

ステレオ(2.1ch)で再生中です。

マルチチャンネル(5.1ch)で再生中です。

3.1chのダイアログモードがオンの状態で再生中です。☰ はダイアログモードがオンのときに点灯します。（52ページ）

5.1chのバーチャルSBモードがオンの状態で再生中です。▬ はバーチャルSBモードがオンのときに点灯します。（52ページ）

⑬ アドバンスドサラウンドモードかフロントサラウンドモードを選択しているときに点灯します。（49～51ページ）

⑭ 映像出力方式でプログレッシブが選択されているときに点灯します。（59ページ）

⑮ MPEG-2 AAC信号を再生しているときに点灯します。（92ページ）

⑯ DTS信号を再生しているときに点灯します。

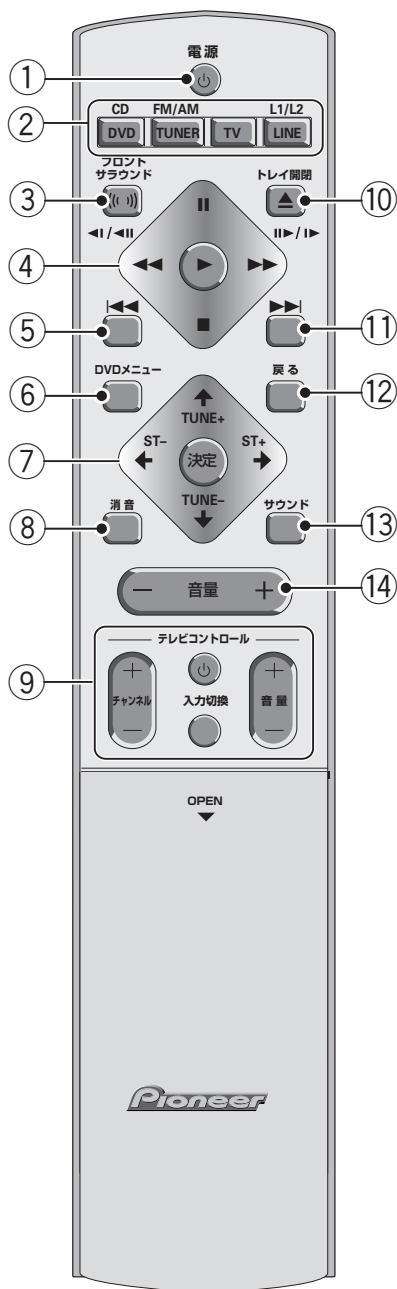
⑰ 目覚ましタイマーまたはスリープタイマー設定時に点灯します。（55、57ページ）

⑱ 文字や数字を表示します。

⑲ DVDソフトを再生中、アングルを変更できる場面で点灯します。(41ページ)

⑳ FM放送の受信設定をモノラルに設定すると O が点灯します。(29ページ)

FM放送でステレオ受信していると、OO が点灯します。

リモコン

① ⏻ 電源ボタン

② DVD/CDボタン
DVDやCDを再生したり、一時停止するときに使用します。

FM/AM TUNERボタン
ラジオを聞いたり、FM局とAM局を切り換えるときに使用します。

TVボタン
接続したテレビの音を聞くときに使用します。

L1/L2 LINEボタン
本機に接続した外部機器の音を聞くときに使用します。押すごとに、LINE1とLINE2が切り換わります。

③ フロントサラウンドボタン（50ページ）

④ ►ボタン
ディスクを再生するときに使用します。

■ ボタン
ディスクを停止するときに使用します。

ıı ボタン
ディスクを一時停止するときに使用します。

◄◄/◄ı/◄ıı ボタン（25ページ）

►►/ıı►/ı► ボタン（25ページ）
再生中は映像や音声の早送り/早戻しをします。一時停止中に押すとコマ送り / コマ戻し再生を行い、押し続けるとスロー再生をします。

⑤ ı◄◄ ボタン
現在再生中のチャプター / トラックの始めに戻ります。

⑥ DVDメニューボタン
DVDのメニュー画面を表示するときに使用します。また、WMA/MP3 JPEG CD(R/RW) VR DVD-RW Video CD では、ディスクナビゲーター画面を表示するときに使用します。

⑦ ⇧ ⇩⇦ ⇨ /決定ボタン
項目の選択や変更、またはDVDなどのメニューや設定画面にて、カーソルを上下左右に移動し、決定ボタンで決定するときに使用します。

⑧ 消音ボタン
音を一時的に消す（ミュートする）ときに押します。もう一度押すとミュートは解除され、消音する前の音量に戻ります。

⑨ テレビコントロールボタン
以下のボタンは、本機のリモコンに、お使いのテレビのメーカーコードを設定すると使用することができます。(23、99ページ)

テレビ ⏻
テレビの電源を入れます。

テレビ入力切換ボタン
テレビのライン入力を切り換えます。

テレビチャンネルボタン
テレビのチャンネルを変更します。

テレビ音量ボタン
テレビの音量を調整します。

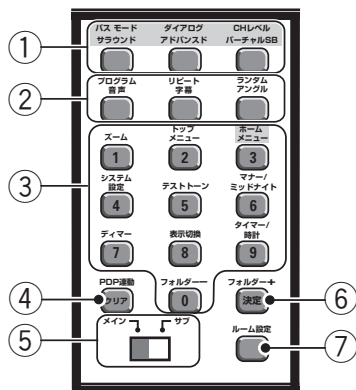
⑩ ⏏トレイ開閉ボタン

⑪ ►►I ボタン
現在再生中のチャプター / トラックの次に進みます。

⑫ 戻るボタン
DVDの初期設定画面やメニュー画面が表示されているときに押すと、1つ前の項目に戻ります。

⑬ サウンドボタン（51、54ページ）
リスニングモードの効果を調整したり、高音、低音の調整などを行うモードにしたいときに使用します。

⑭ 音量ボタン

リモコンドアパネル内（メインのとき）

① サラウンドボタン（46ページ）

アドバンスドボタン（49ページ）

バーチャルSBボタン（52ページ）

② 音声ボタン（42ページ）
言語、または音声を切り換えるときに使用します。

字幕ボタン（13ページ）
DVDの字幕言語を切り換えるときに使用します。

アングルボタン（41ページ）
DVDのアングルを切り換えるときに使用します。また、JPEGの画像を回転させるときにも使用します。

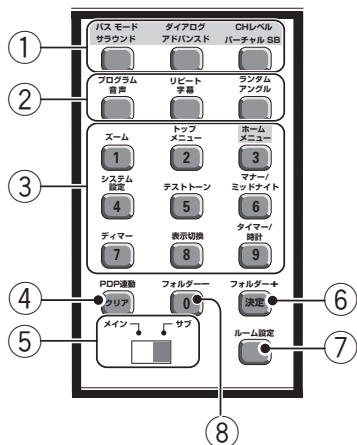
③ 数字ボタン

④ クリアボタン
リピート、ランダムまたはプログラム再生などで設定した内容を取り消します。

⑤ メイン/サブリモコン切り換えスイッチ
リモコンをメインモードで使用するか、サブモードで使用するかを切り換えます。

⑥ 決定ボタン
設定または選択した項目を決定します。

⑦ ルーム設定ボタン（7ページ）

リモコンドアパネル内（サブのとき）

① バスモードボタン（53ページ）

ダイアログボタン（52ページ）

CHレベルボタン（71ページ）

② プログラムボタン（36ページ）

リピートボタン（33ページ）

ランダムボタン（34ページ）

③ ズームボタン（42ページ）

トップメニューボタン
DVDソフトの最上層のメニュー画面を表示します。

ホームメニューボタン
ホームメニュー画面を表示したり、操作/設定の途中で画面をオフにします。

システム設定ボタン
各種システム設定を行います。

テストトーンボタン（70ページ）

マナー/ミッドナイトボタン（54ページ）

ディマーボタン（73ページ）

表示切換ボタン（43ページ）

タイマー/時計ボタン（22、55、57ページ）
タイマーや時間を設定するときまたは時計を見るときなどに押します。

④ PDP連動（81ページ）
接続したプラズマディスプレイと連動させて各種システムの設定を行います。

⑤ **メイン/サブリモコン切り換えスイッチ**
リモコンをメインモードで使用するか、サブモードで使用するかを切り換えます。

⑥ **フォルダーサーチ+ボタン**

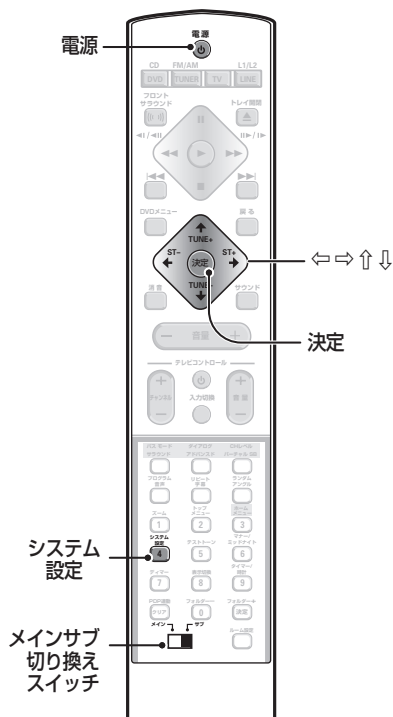
WMA/MP3 または JPEG の再生中に、次のフォルダーの始めに送ります。

⑦ **（メインのときのみ操作可能）**

⑧ **フォルダーサーチ−ボタン**

WMA/MP3 または JPEG の再生中に、1つ前のフォルダーの始めに戻ります。

デモ表示を解除する

電源コードをコンセントに差し込んだときなど、表示部にいろいろな表示を自動的に行うことを、デモ表示といいます。

注 意

◆ デモ表示を解除した場合でも、電源コードを抜いたり停電した状態が長時間続くと、再度電源コードをコンセントに差したり通電が再開したときに、デモ表示をする場合があります。

Q&A

Q: デモ表示をしない！

→ 22 ページにて時刻が設定されていると、デモ表示は強制的に解除されます。

一時的にデモ表示を解除するには

本体かリモコンのいずれかのボタンを押します

デモ表示を一時的に解除します。
ただしこの場合、以下のときに再びデモ表示を開始します。

- 電源コードをコンセントに差し込んだとき
- DVD や CD などの再生が終了して、5 分以上何も操作がなかったとき
- 停電したあと

デモ表示をしないように設定するには

1. 電源 ⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

2. メイン サブ メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

3. システム設定 4 システム設定ボタンを押します

4. ⇦ ⇨ で "Demo Mode" にしてから決定ボタンを押します

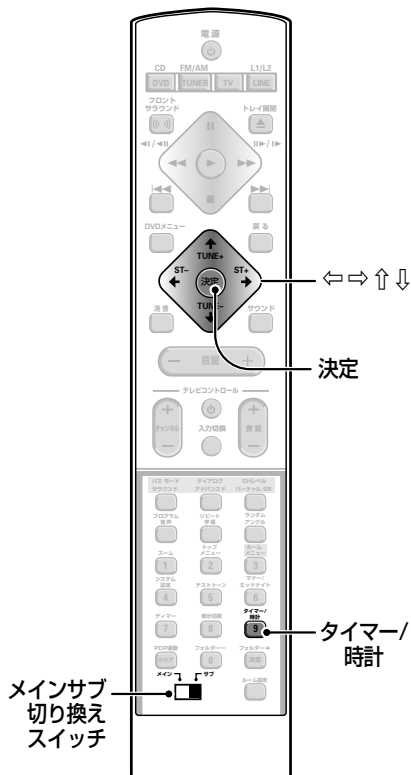
Demo Mode?

5. ⇧ ⇩ で "Demo Off" にしてから決定ボタンを押します

Demo Off?

電源がオフになりデモ表示が解除されます。再びデモ表示を設定する場合は、"Demo On" にします。その場合は DVD ファンクションに切り換わります。

時計を合わせる

お買い上げ時の時計表示は、12時間表示です。時計を合わせていないと、タイマー動作（55～57ページ）を行うことはできません。また、時計表示を24時間表示に切り換えることもできます。（72ページ）

例）午後6時40分に合わせる場合

1. メイン サブ
メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. タイマー/時計 9
タイマー/時計ボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で "Clock ADJ" にしてから、決定ボタンを押します

Clock ADJ?

4. ⇧ ⇩ で「時」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"6 pm" にします。

6 : 00 pm

5. ⇧ ⇩ で「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"40" にします。

6 : 40 pm

「分」が入力され、時計の設定が終了しました。

注 意

◆ 停電したり電源コードを抜くと時計表示が点滅します。この場合はもう一度時計を合わせ直してください。

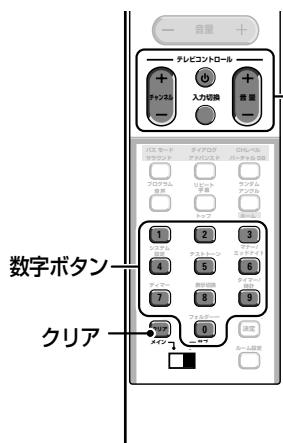
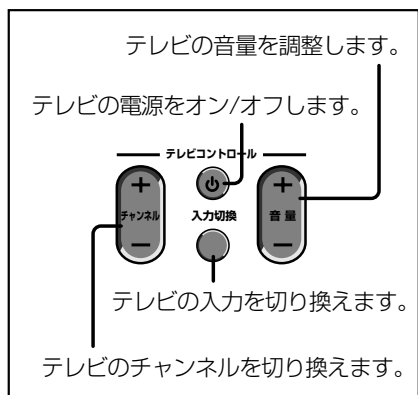
時計表示にするには

1. メイン サブ
メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. タイマー/時計 9
タイマー/時計ボタンを押します

時計を数秒間表示し、通常表示に戻ります。

はじめに 1 テレビを操作できるようにする

TVコントロールに、お手持ちのテレビのメーカーコードを設定すると、いつでも設定されたテレビの操作をすることができます。ただし、メーカーコード表にないメーカーのテレビは操作できません。また、メーカーコードが記載されていても操作できない機種もあります。

1. **操作したいテレビに、リモコンを向けます**

2. **クリアボタンを押しながら、3桁のメーカーコードを入力します**

正しいコードナンバーを入力すると、電源ON/OFF信号がリモコンから送信され、テレビの電源がオンまたはオフに切り換わります。
テレビの電源がオン/オフしない場合で、そのメーカーに別のコードナンバーがある場合は、別のコードナンバーを使って手順1からやり直してみてください。

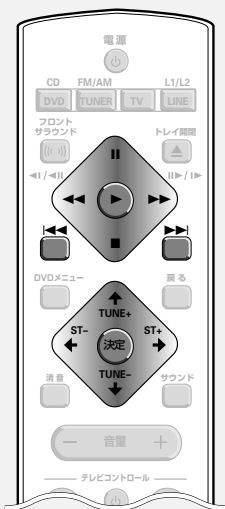
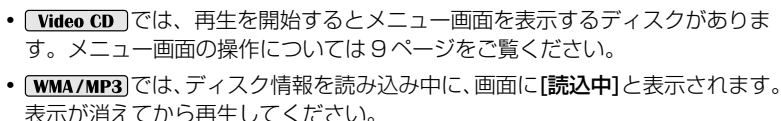
メーカーコード表

下記に記載されていないメーカーについては、99ページをご覧ください。

メーカー	コード
アイワ	**660**
NEC	**659**
サンヨー	**614, 635, 645, 648, 621**
シャープ	**602, 619, 627**
ソニー	**604**
東芝	**605, 602, 626, 621, 653**
日立	**631, 633, 634, 636, 642, 643, 654, 606, 610, 624, 625, 618**
パナソニック	**631, 607, 608,642, 622**
ビクター	**613**
富士通	**648, 629**
FUNAI	**640, 646, 658**
三菱	**609, 610, 602, 621, 631**
パイオニア	**600 (お買い上げ時の設定), 631, 632, 607, 636, 642, 651**

Q&A

Q：テレビの電源がオン / オフしない

→ テレビにSTANDBY/ONモードがついていない場合は、電源は切り換わりません。テレビのチャンネルを操作するなどして、実際に動作するか確認してください。

再生

1.

再生します

- Video CD では、再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については９ページをご覧ください。
- WMA/MP3 では、ディスク情報を読み込み中に、画面に**[読込中]**と表示されます。表示が消えてから再生してください。

停止

1.

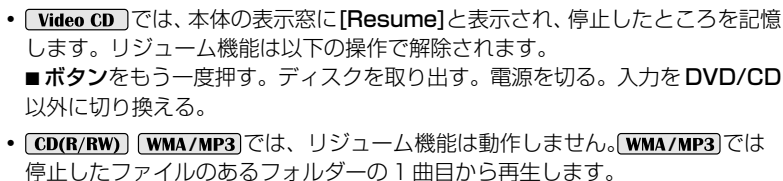
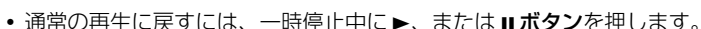
停止します

- Video CD では、本体の表示窓に[Resume]と表示され、停止したところを記憶します。リジューム機能は以下の操作で解除されます。
  ■ **ボタン**をもう一度押す。ディスクを取り出す。電源を切る。入力をDVD/CD以外に切り換える。
- CD(R/RW) WMA/MP3 では、リジューム機能は動作しません。WMA/MP3 では停止したファイルのあるフォルダーの１曲目から再生します。

一時停止

1.

一時停止します

- 通常の再生に戻すには、一時停止中に ►、または **II ボタン**を押します。

頭出し（スキップ）

1. 再生中に ►►I（または I◄◄）ボタンを押します

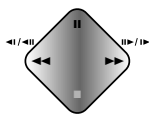
- 押した回数だけチャプター / トラックをスキップします。

早送り / 早戻し再生

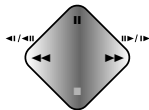
1. 再生中にリモコンの ►►（または ◄◄）ボタンを押します

- ボタンを押すごとに早さを切り換えることができます。
- 通常の再生に戻すには ► **ボタン**を押します。

コマ送り / コマ戻し再生

1. 再生中に II ボタンを押して一時停止させ、II►/I►（または ◄I/◄II）ボタンを押します

- コマ送り / コマ戻し再生は音声が出力されません。
- コマ送り / コマ戻し再生ができないディスクもあります。
- 再生方向を変更したとき、一瞬映像が動くことがあります。
- コマ戻し再生中、映像が揺れることがあります。
- 通常の再生に戻すには ► **ボタン**を押します。
- **VR DVD-RW** **Video CD** では、コマ戻し再生をすることができません。

スロー再生

1. 再生中に II ボタンを押して一時停止させ、II►/I►（または ◄I/◄II）ボタンを押し続けます

- 画面にスローの表示がでたら、手を離してもスロー再生を続けます。
- スロー再生中、ボタンを押すごとに早さを切り換えることができます。
- スロー再生は音声が出力されません。
- スロー再生ができないディスクもあります。
- 通常の再生に戻すには ► ボタンを押します。
- **VR DVD-RW** **Video CD** では、逆方向のスロー再生ができません。

ダイレクトサーチ

タイトル / チャプター / トラックを指定して再生することができます。

1. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

2.

数字（0～9）ボタンでタイトル / チャプター / トラック番号を入力して、決定ボタンを押します

- タイトル / チャプター / トラックを指定して再生できないディスクもあります。
- DVD-Video のチャプターサーチでは、再生中のタイトル内のチャプターのみを指定することができます。

再生中にできるダイレクトサーチの種類

DVD-Video	VR DVD-RW	Video CD　CD(R/RW)　WMA/MP3
チャプターサーチ	タイトルサーチ	トラックサーチ

ディスク停止中にダイレクトサーチを行うと、DVD-Videoは**タイトルサーチ**になります。

フォルダースキップ

押した回数だけスキップします。

1. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2.

再生中に、フォルダー＋（またはフォルダーー）ボタンを押します

- 1 回押すと、次のフォルダーに進むか 1 つ前のフォルダーに戻ります。
- WMA/MP3はフォルダー / トラックの名前を表示することができます（半角英数字で入力された文字のみ）。WMA/MP3について詳しくは91ページをご覧ください。

Q&A

Q1: Video CD CD(R/RW) が再生できない。

→ パソコンで作成された Video CD CD(R/RW) は再生できないことがあります。

Q2: WMA/MP3 が再生できない。

→ 記録したディスクが ISO9660 フォーマットに準拠していない。
→ サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、または 48kHz で記録されていない WMA ファイルを再生している。ただしサンプリング周波数が 32kHz でも、記録ビットレートが 20kbps の WMA ファイルは再生することができません。
→ 可変ビットレート（VRB）またはロスレスエンコーディングのWMAファイルを再生している。
→ DRM コピープロテクト（保護）のかかった WMA ファイルを再生している。
→ MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 32kHz、44.1kHz、または 48kHz で記録されていない MP3 ファイルを再生している。

Q3: JPEG が再生できない。

→ 記録したディスクが ISO9660 フォーマットに準拠していない。
→ 総ピクセル数が 8M ピクセル以下（縦横の解像度がそれぞれ 5120 ピクセル以下）のベースライン JPEG ファイルではない。
→ プログレッシブ JPEG ファイルは再生できません。

Q4: ラストメモリー機能が動作しない。

→ Video CD では、ディスクを取り出したり、ディスクが入っていても電源をオフにすると停止したトラックの位置は解除され、ラストメモリー機能は動作しません。

アンテナが接続されていないと、FM/AM放送を聞くことはできません。別紙の**「システムセットアップガイド」**を参照して、アンテナを接続してください。

1. TUNER ボタンを押します

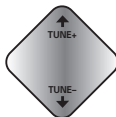
FM/AM
TUNER

ラジオが聞ける状態になります。

FM	76.00
AM	522

押すごとに、FMとAMが切り換わります。
FM放送を聞くときはFMを、AM放送を聞くときはAMを選択してください。

2. ⇧ ⇩ を押して、聞きたい放送局に周波数を合わせます

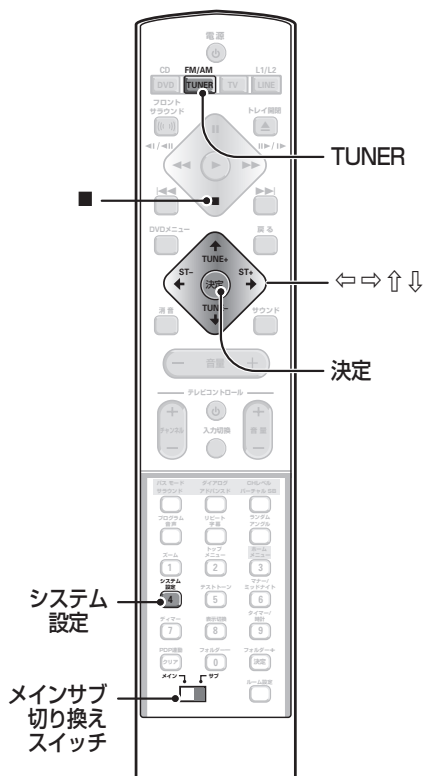
周波数の合わせ方（チューニング）には、以下の3種類があります。

オートチューニング

⇧ ⇩ を押し続けて、周波数が動き始めたら指を離します。
周波数が自動的に変化して、放送局を受信すると自動的に止まります。
途中で止めるときは、もう一度 ⇧ ⇩ を押すか、■ ボタンを押します。

マニュアルチューニング

⇧ ⇩ を1回ずつ押します。
周波数が1ステップずつ変化します。

ハイスピードマニュアルチューニング

⇧ ⇩ を押し続けます。
ボタンを押している間、周波数が連続して変化し、指を離すと止まります。

FM 放送の雑音を減らす

遠い放送局や電波の弱い地域などで、FM のステレオ放送に雑音が多いときは、強制的にモノラルにして放送を聞きやすくします。
お買い上げ時は、放送局側に合わせて自動的にステレオとモノラルを切り換える "**Auto**" に設定されています。

1. FM/AM TUNER

TUNER ボタンを押して FM 放送を受信します

2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

3. システム設定 4

システム設定ボタンを押します

4. ST− 決定 ST+

⇦ ⇨ で "FM Mode" にしてから、決定ボタンを押します

FM Mode?

現在の設定が表示されます。

5.

⇧ ⇩ で "FM Mono" にしてから、決定ボタンを押します

FM Mono?

表示部に、○ が点灯します。
FM ステレオ放送をステレオで受信するように設定する場合は、"**FM Auto**" にします。

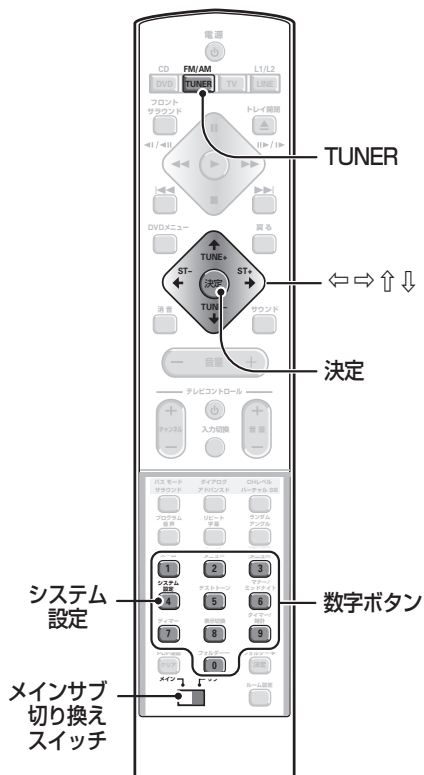
Q&A

Q: FM ステレオ放送なのに、ステレオにならない

→ 放送されているFMがモノラル放送か、電波の弱い場合は、ステレオ放送になりません。

受信した放送局を記憶する

FM/AM放送あわせて30局まで、ステーション（記憶番号）に記憶することができます。

1. FM/AM TUNER

TUNER ボタンを押し、記憶したい放送局を受信します

放送局の受信のしかたは、28ページを参照してください。

2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

3. システム設定 4

システム設定ボタンを押します

4.

⇦ ⇨ で "St. Memory" にしてから、決定ボタンを押します

St . Memory ?

5. TUNE+ TUNE–

⇧ ⇩ で、記憶するステーションを選びます

記憶するためのステーションは 1 ～ 30 まであります。

01 FM 79.50

6. 決定

決定ボタンを押して記憶させます

記憶した放送局を呼び出す

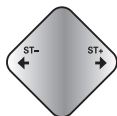
各ステーション（記憶番号）に記憶させた放送局を聞くことができます。

1. FM/AM TUNER

TUNER ボタンを押します

ラジオが聞ける状態にします。

2.

⇦ ⇨ で、記憶したステーションを選びます

リモコンの数字ボタンで呼び出す

1. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

2.

ステーション番号と同じ数字ボタンを押します

ダイレクトにステーションを選ぶことができます。

（例）ステーション25 ： 2 5

ステーション18 ： 1 8

3.

決定ボタンを押します

ダイレクトにステーションを選ぶことができます。
数字ボタンを押して2秒以上待つと、**決定ボタン**を押さなくても選ぶことができます。

注 意

- ◆ すでに記憶されているステーションに違う放送局を記憶させると、前の放送局は消去され、新しい放送局がステーションに記憶されます。
- ◆ 停電や電源プラグを抜いた状態が長時間続くと、ステーションに記憶した内容が消えてしまう場合があります。

プレイモード画面を表示する

以下のいろいろな機能を使うにはプレイモード画面を表示しなければならないことがあります。
プレイモード画面は以下の手順で表示します。

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます

3. [プレイモード]を選択して、決定ボタンを押します

4. ⇧⇩⇦⇨ボタンと決定ボタンでそれぞれの項目を選択、決定します

メモ

▼ Video CD のPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください。（43ページ）

指定した部分を繰り返し再生する（A-B リピート）

1. 再生中にプレイモード画面を表示させ（上記）、[A-B リピート]を選択します

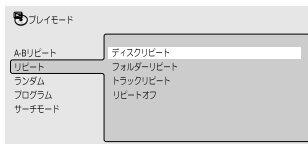
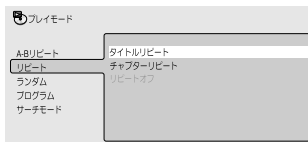
2. [A(開始箇所)]を選択して、開始したい箇所で決定ボタンを押します

3. [B(終了箇所)]を選択して、終了したい箇所で決定ボタンを押します

A-B リピート再生を開始します。
解除するときは、[**オフ**]を選択します。
A-Bリピート再生中に**クリアボタン**を押しても解除することができます。

注 意

◆ 異なるタイトルをまたいで A-B リピート再生をすることはできません。
◆ A-B リピート再生ができないディスクがあります。

繰り返し再生する（リピート）

プレイモード画面で操作するには

1. 再生中にプレイモード画面を表示させ（32ページ）、[リピート]を選択します

2. リピート再生の種類を選び、決定ボタンを押します

リピート再生を開始します。

- タイトルリピート
- ディスクリピート
- トラックリピート
- チャプターリピート
- フォルダーリピート
- プログラムリピート

リピート再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。
解除するときは[**リピートオフ**]を選択します。

ボタンで操作するには

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. 再生中に、リピートボタンを押します

リピート再生を開始します。
リピートボタンを押すと、以下のように切り換わります。

- タイトルリピート
- ディスクリピート
- トラックリピート
- チャプターリピート
- フォルダーリピート
- プログラムリピート

リピート再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。

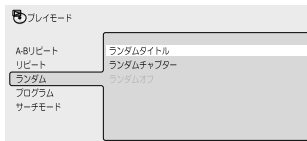
メ モ

▼ ディスクを停止するとリピート再生は解除されます。
▼ プログラム再生中（35 ページ）に**リピートボタン**を押すと、プログラム再生を繰り返します。
▼ リピート再生中に、メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えてから**クリアボタン**を押すと通常の再生に戻ります。

注 意

◆ リピート再生できないディスクもあります。
◆ リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。

順不同に再生する（ランダム）

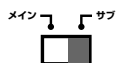
プレイモード画面で操作するには

1. **再生中にプレイモード画面を表示させ（32ページ）、[ランダム]を選択します**

2. **ランダム再生の種類を選び、決定ボタンを押します**

ランダム再生を開始します。

- **ランダムタイトル**
- **ランダムチャプター**
  再生中のタイトル内のチャプターを順不同に再生します。
- **ランダムオール**
  ディスク内のトラックを順不同に再生します。
- **ランダムトラック**
  再生中のフォルダー内のトラックを順不同に再生します。

ランダム再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。
解除するときは、**[ランダムオフ]**を選択します。

ボタンで操作するには

1. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. **ランダム再生の種類を選び、決定ボタンを押します**

ランダム再生を開始します。
ランダムボタンを押すと、以下のように切り換わります。

- **ランダムタイトル**
- **ランダムチャプター**
- **ランダムオール**
- **ランダムトラック**

ランダム再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。

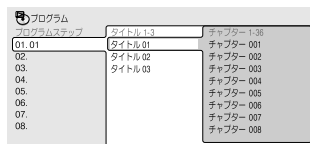
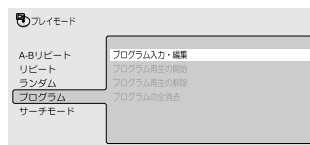
メ モ

▼ ディスクを停止するとランダム再生は解除されます。
▼ ランダム再生中に▶▶|**ボタン**を押すと、本機が順不同に次のチャプター/トラックを選んで再生します。また|◀◀ **ボタン**を押すと、現在再生中のチャプター/トラックを始めから再生します。
▼ ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻すこともできます。

注意

◆ ランダム再生できないディスクがあります。
◆ ランダム再生とリピート再生、またはプログラム再生を同時に行うことはできません。

好みの順に再生する（プログラム）

プレイモード画面で操作するには

1. 再生中にプレイモード画面を表示させ（32ページ）、[プログラム]を選択します

2. [プログラム入力・編集]を選択して、決定ボタンを押します

3. プログラムしたいタイトル/チャプター/フォルダー/トラックを選択して、決定ボタンを押します

プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。

4. 手順３を繰り返して、他のタイトルなどを入力します

ステップの間にプログラムを追加したいときは

・プログラムステップの追加したい箇所にカーソルを合わせます。
・追加するタイトルなどを選択して決定ボタンを押します。

追加した箇所にあったタイトルなどは、新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除したいときは

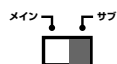
・削除したいプログラムステップにカーソルを合わせます。
・クリアボタンを押します

プログラムが削除され、その後ろにあったタイトルなどが１つ前に繰り上がります。

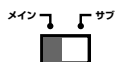
5. ►ボタンを押します

プログラムした順に再生を開始します。

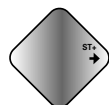
ボタンで操作するには

聞きたい曲を最大 24 ステップまで、好きな順番に登録することができます。

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. 停止中にプログラムボタンを押します

CD(R/RW)の場合は上記のように表示されます。すでにプログラムされているときはプログラム総再生時間を表示します。

3. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

4. (WMA/MP3のみ)聞きたい曲のフォルダー番号の数字ボタンを押してから、⇨ を押します

フォルダー7を選んだときは、数字ボタンの**7**を押してから、⇨ **ボタン**を押します。

7–　ALL

5. 聞きたい曲の番号の数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します

15曲目を選んだときは、数字ボタンの **1** と **5** を押してから、**決定ボタン**を押します。

例)WMA/MP3のフォルダー２の 15 曲目を入力したとき（このとき ⇦ を押すとフォルダーの選択に戻ります）

例）CD の４曲目を入力したとき

P–01　4

決定

6. 手順４と５を繰り返して、聞きたい曲のフォルダーや曲番号を登録します

CD のときは、手順５だけを繰り返します。

7. ► ボタンを押します

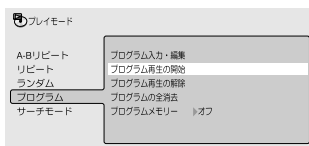
プログラムした順に再生を開始します。

メモ

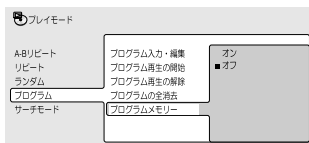
▼ DVD-Video Video CD などのディスクのときはプレイモード画面の設定になります（35 ページ）。この場合、**プログラムボタン**を押すと、ディスクの再生中でもプレイモード画面になります。
▼ 手順４で⇨の代わりに**決定ボタン**を押すと、選んだフォルダーごとプログラム登録することができます。
▼ プログラム再生中に、⏮ ⏭ **ボタン**を押すと、プログラムされた前後の曲に移ります。
▼ プログラム再生中にプレイモード画面の**[リピート]**から**[プログラムリピート]**を選択、または**リピートボタン**を押すと、プログラムした内容を繰り返し再生します。**(プログラムリピート再生)**
▼ 一度停止してから、もう一度プログラム再生するときは、**プログラムボタン**を押してから ▶ **ボタン**を押します。
▼ VR DVD-RW では、プログラム再生ができません。
▼ プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。プログラム再生を解除して、ランダム再生のみをします。

注意

◆ WMA/MP3 の場合、プログラム総再生時間の表示は出ません。
◆ ランダム再生とリピート再生、またはプログラム再生を同時に行うことはできません。
◆ タイトル/チャプターが変わるときに、プログラムしていないタイトル/チャプターの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。

プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去するには

● **プログラム再生の開始**
すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
● **プログラム再生の解除**
通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります（プログラム再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます）。
● **プログラムの全消去**
プログラムされている内容をすべて消去します（停止中に**クリアボタン**を押して消去することもできます）。

DVD でプログラムした内容を記憶するには･･･ (プログラムメモリー)

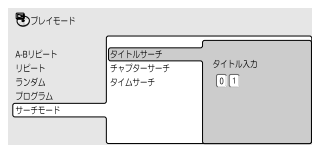
DVD ディスクを取り出してもプログラムした内容を記憶するように設定します。プログラムメモリーしたディスクをセットすると、自動的にプログラムされている順に再生を開始します。最大24枚まで記憶させることができます。24 枚を超えると、古い記憶から消去されます。

1. [プログラムメモリー]を選択して、⇨ を押します

2. [オン]を選んで、決定ボタンを押します

プログラムメモリーを解除するときは[オフ]を選択して、決定します。

メ モ

▼ プログラムメモリー機能を使うと、(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大24個のタイトル/チャプターを指定した順に並べ替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大24枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。

見たい場面を探す（サーチモード）

1. **再生中にプレイモード画面を表示させ（32 ページ）、[サーチモード]を選択します**

2. **サーチモードの種類を選び、決定ボタンを押します**

- **タイトルサーチ**
- **フォルダーサーチ**
- **タイムサーチ**
  （Video CDでは、再生中のトラック内の時間を指定して再生します。）
- **チャプターサーチ**
- **トラックサーチ**
  サーチモードの種類は、再生しているディスクによって異なります。

3. **数字（0～9）ボタンで再生したいタイトル / チャプター / フォルダー / トラックまたは時間を入力して、決定ボタンを押します**

指定したタイトル/チャプター/フォルダー/トラックまたは時間から再生を開始します。

タイムサーチを選択したとき

21分43秒を再生するには、2,1,4,3を押して、**決定ボタン**を押します。
1時間4分（64分00秒）を再生するには、6,4,0,0を押して、**決定ボタン**を押します。

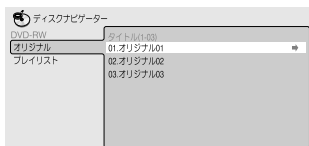
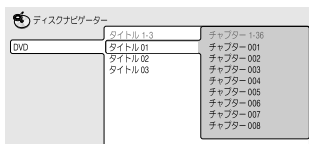
メ モ

▼ DVD-Videoでは、ディスクメニューで見たい場面を探す（サーチする）ことができるディスクがあります。このときは、リモコンの**DVDメニューボタン**でディスクメニューを表示させてサーチしてください。

Q&A

Q: タイムサーチができない

→ WMA/MP3、またはCD(R/RW)ではタイムサーチができません。

ディスクナビゲーターを使って再生する

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. 再生中にホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます

3. [ディスクナビゲーター]を選んでから、決定ボタンを押します

4. ⇧ ⇩ ⇦ ⇨ ボタンを再生したいタイトル、またはチャプターに移動します

VR DVD-RWでプレイリストを設定しているときは、**[オリジナル]**、または**[プレイリスト]**を選択して再生することができます。

ディスクナビゲーターの画面は、再生しているディスクによって異なります。

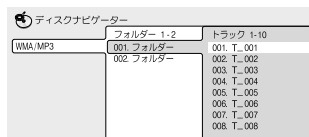
5. （VR DVD-RWのみ）先頭の画面を確認したいときは停止中に確認したいタイトルを選択して、⇨ボタンを押します

6. 再生したいタイトル、またはチャプターを選択して、決定ボタンを押します

選択したタイトル、またはチャプターから再生を開始します。

メ モ

- ▼ Video CDのPBC再生中はホームメニュー画面を表示することができません。PBC再生を解除してください（43ページ）。
- ▼ DVDレコーダーで録画して作られたタイトルを**[オリジナル]**、オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを**[プレイリスト]**といいます。
- ▼ プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面に**[プレイリスト]**は表示されません。
- ▼ VR DVD-RWの再生中に**[オリジナル]**と**[プレイリスト]**を切り換えることはできません。ディスクを停止してから切り換えてください。

WMA/MP3 のみ

半角英数字以外で入力されているフォルダー/トラックの名前は[F_001]/[T_001]のように表示されることがあります。

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます

3. [ディスクナビゲーター]を選択して､決定ボタンを押します

4. ⇧ ⇩⇦ ⇨ ボタンで再生したいフォルダー / トラックを選択して、決定ボタンを押します

再生を開始します。

一覧(フォトブラウザー)画面を表示させるには

7. 再生したいフォルダーを選択して､決定ボタンを押すと一覧（フォトブラウザー）画面が表示されるので、⇧ ⇩⇦ ⇨ ボタンで画像を選択して、決定ボタンを押します

- スライドショーが始まります。
- ⏮⏭ボタンを押すと画像が９枚ずつ切り換わります。
- ディスクナビゲーター画面に戻りたいときは、**戻るボタン**を押してください。

メ モ

▼ **WMA/MP3** **JPEG** では､ディスク情報の読み込み中に､画面に[Loading]と表示されます｡表示が消えてから再生してください｡

アングルを切り換える

複数のアングルが収録されている DVD-Video では、再生中にアングルを切り換えることができます(マルチアングル)。詳しくは 87、89 ページをご覧ください。

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

ランダム
アングル

2. アングルボタンを押します

•現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。
押すたびにアングルが切り換わります。

メ モ

▼ 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークが画面に表示されます。マークを表示させたくないときは、初期設定の[**アングルマーク表示**]を[**オフ**]にします。(62 ページ)
▼ マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
▼ メニュー画面でアングルを切り換えることができるディスクもあります。

画像を回転 / 反転させる

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

ランダム
アングル

2. アングルボタンを押します

•押すたびに時計回りに 90°画像が回転します。

メ モ

▼ 通常のスライドショーに戻すには ► **ボタン**を押します。

4

いろいろな機能を使う

画像を拡大する(ズーム)

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. ズームボタンを押します

•ズームエリア(拡大する場所)が表示されます (JPEG を除く)。⇧ ⇩ ⇦ ⇨ **ボタン**でズームエリアを移動することができます。
•押すたびに、2 倍 →4 倍 → 通常と切り換わります。

メ モ

▼ ► **ボタン**を押して通常の再生（JPEG の場合、スライドショー）に戻すこともできます。

音声を切り換える

1. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

2. 再生中に音声ボタンを押します

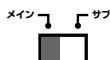
押すたびに音声が切り換わります。

例）
Video CD では、ステレオ、1/L（左）、2/R（右）が切り換わります。

メ モ

▼ DVD-Video によっては**音声ボタン**で音声を切り換えられない場合があります。DVDのメニュー画面で切り換えてください。
▼ ディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
▼ ここで切り換えた音声の設定は、リジューム機能（13ページ）を解除したとき、またはディスクを取り出したときに初期設定（61 ページ）の設定に戻ります。
▼ カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。
▼ 音声が二重（二か国語）で記録されているVR DVD-RWの場合、音声の切り換えは「デュアルモノの設定」（68 ページ）をご覧になって行ってください。

メニュー画面から再生する(PBC 再生)

Video CD では、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。

1. PBC再生対応ディスクを入れ、► ボタンを押して再生します

メニュー画面が表示されます。

2. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

3. 数字(0~9)ボタンで再生したいトラックを選択して、決定ボタンを押します

再生を開始します。再生中に**戻るボタン**を押すとメニュー画面に戻ります。

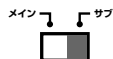
メニュー画面のページをめくる、または戻すには

メニュー画面を表示中に ►►I または I◄◄ **ボタン**を押します。

メニュー画面のページを出さずに再生するには(PBC 再生を解除して再生する)

下記のいずれかの操作で、再生するトラックを選択します。

- **停止中に ►►I または I◄◄ ボタンで選択します。**
- **停止中に数字(0 ~ 9)ボタンで選択して、決定ボタンを押します。**

ディスクの情報を見る

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. 再生中に表示切換ボタンを押します

表示切換

ディスクの経過時間や残量などを表示します。

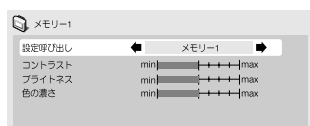
例）

再生	► DVD			チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
タイトル	1/3	0.12	138.47	138.59
音声 1. 英語 Dolby Digital 3/2.1CH		字幕 2. 日本語		アングル 1

ディスクによっては、**表示切換ボタン**を押すたびに表示内容が切り換わります。
表示切換ボタンを数回押すと、表示がオフになります。

メ モ

▼ Video CD のPBC再生中は一部の情報が表示されません。PBC再生を解除してください(上記参照)。

画質を調整してより見やすくする

1. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. **ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます**

3. **[画質調整]を選択して、決定ボタンを押します**

4. **[標準]、[メモリー 1]、または[メモリー 2]を選択して、決定ボタンを押します**

標準(お買い上げ時の設定)
ディスクに記録されているそのままの画質です。
メモリー 1/ メモリー 2
お好みで調整した画質設定を記憶させることができます。

5. **[詳細設定]を選択して、決定ボタンを押します**

6. **⇧ ⇩⇦ ⇨ ボタンと決定ボタンを使って、各項目を設定します**

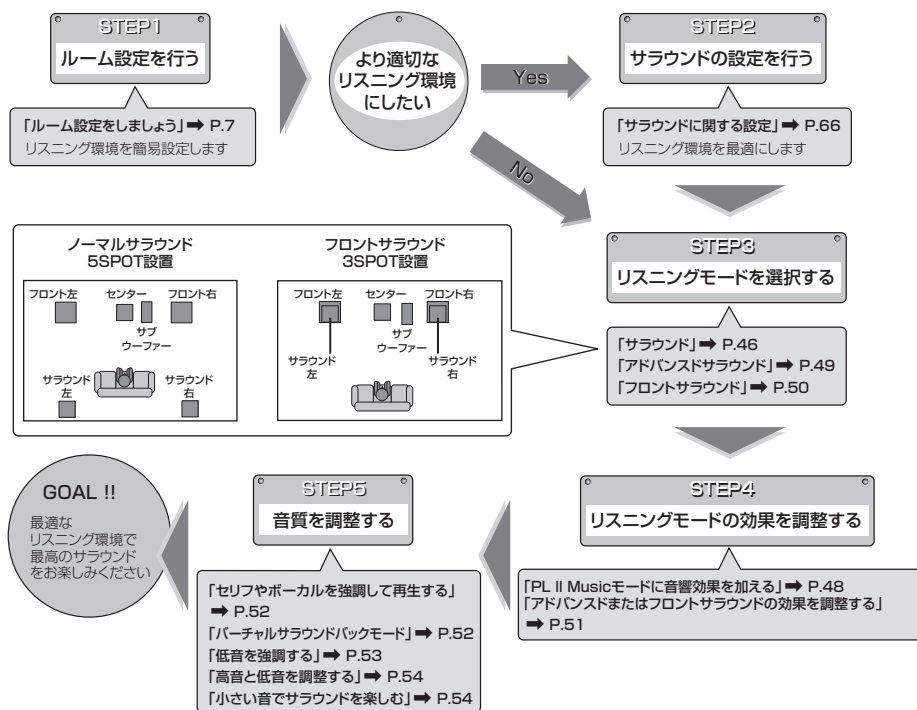
7. **決定ボタンを押して、設定画面を終了させます**

コントラスト	最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。
ブライトネス	画面の明るさを調整します。
色の濃さ	色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

メ モ

▼ ディスクやテレビ（モニター）によっては効果がはっきりしないことがあります。

サラウンド再生を楽しむ

本機で最適なサラウンド再生をお楽しみいただくためのステップは以下の通りです。

STEP3
リスニングモードを選択する

リスニングモードは、サラウンド / アドバンスドサラウンド / フロントサラウンドの中から各入力ごとにひとつだけ選択することができます。88.2/96kHzリニアPCM信号を再生しているときは、リスニングモードを切り換えることができません。

サラウンド：

ドルビーデジタルやＤＴＳなどの標準的なデコードを行うほか、ステレオダウンミックスモード、入力ソースによって自動で最適なモードにするオートモードがあります。ステレオソースのときはドルビープロロジックIIモードも選べます。

アドバンスドサラウンド：

ノーマルサラウンド5SPOT設置のときに効果的なパイオニアオリジナルのサラウンドモードです。

フロントサラウンド：

フロントサラウンド3SPOT設置のときに効果的なパイオニアオリジナルのサラウンドモードです。

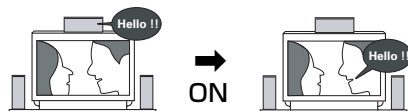
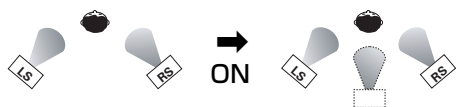
STEP4
リスニングモードの効果を調整する

PL II Musicモードに音響効果を加える：

ドルビープロロジックIIミュージックモードには３つの音響効果があり、その効果を調整することができます。

アドバンスドサラウンド/フロントサラウンドの効果を調整する：

アドバンスドサラウンドかフロントサラウンドの効果を強くしたり弱くしたりすることができます。アドバンスドサラウンドとフロントサラウンドの各モードごとに調整することができます。

セリフやボーカルを強調する：
通常センタースピーカーから聞こえるセリフをTV から聞こえるように音像を移動したり、セリフやボーカルを明瞭に再生します。

バーチャルサラウンドバック：
後方中央に仮想のサラウンドバックチャンネルを創り出し、6.1ch 再生の迫力を実現します。

低音を強調する：
低音だけを強調して迫力ある低音で再生します。

高音と低音を調整する：
高域と低域の微調整を行うことができます。

小さい音でサラウンドを楽しむ：
高域と低域を控えめにするマナーモードと音量を下げても高域のクリア感を確保し、聴きとりやすいミッドナイトモードを切り換えることができます。

サラウンド

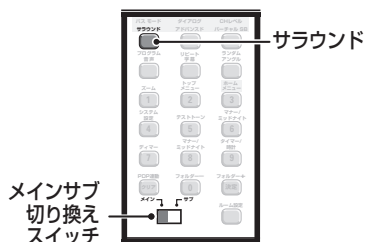
サラウンドモードは以下の中から選びます。お聴きになるソフトのジャンルに合わせて選択してください。ノーマルサラウンド5SPOT設置でもフロントサラウンド3SPOT設置でもお楽しみいただくことができます。

- **オート（Auto）2.1ch 5.1ch**
  CDなどステレオで収録されている音声はステレオで、DVDなどマルチチャンネルで収録されている音声は、記録されたチャンネルに応じたスピーカーから音を出して再生します。

- **ドルビープロロジック（Pro Logic）5.1ch**
  従来のドルビープロロジックと同等の再生モードです。特にドルビーサラウンドエンコード作品をこのモードで視聴すると効果的です。

- **ドルビープロロジック II ムービー（PL II Movie）5.1ch**
  5.1ch 化します。映画再生に適したモードで、特にドルビーサラウンドエンコード作品をこのモードで視聴するとより効果的です。サラウンドｃｈへのダイアローグの漏れ込み（クロストーク）を聞こえにくくする処理などもあり、ドルビーデジタル 5.1 に迫るセパレーションや移動感などが得られます。

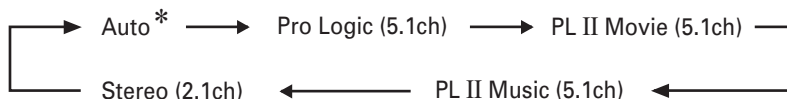
- **ドルビープロロジック II ミュージック（PL II Music）5.1ch**
  5.1ch 化します。音楽再生に適したモードで、通常のステレオ録音されたソース（CD など）を再生するときに効果的です。サラウンドｃｈは定位よりも包囲感を重視しています。

- **ステレオ（Stereo）2.1ch**
  あらゆる入力信号についてステレオ再生（左右２つのフロントスピーカーとサブウーファーのみによる再生）します。

1. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

2. サラウンドボタンを押します

バスモード
サラウンド

押すたびに、以下のように切り換わります。

■ 2チャンネル信号（PCM(CD音声)など）を再生している場合

* Autoは、音声フォーマットに応じたサラウンドモードに自動で切り換えます。

■ マルチチャンネル信号を再生している場合

* 各音声フォーマット(Dolby Digital/ DTS/ MPEG-2 AAC)に応じて、忠実にデコードして再生します。（Autoも同じ効果になります。）また、本体表示部にデコード名称が表示されます。各音声フォーマットについては、87～88、92ページを参照してください。

メ モ

- ▼ ヘッドホンプラグを差しているときは、ステレオ（Stereo）モードになります。
- ▼ サラウンドモード表示中に⇧⇩ **ボタン**を押すことでモードを切り換えることもできます。

Q&A

Q ：サラウンドやセンタースピーカーから音が出ない！または、音が小さくて物足りない！

→ **サラウンドボタン**、**アドバンスドボタン**または**フロントサラウンドボタン**を押して、各モードをお試しください。

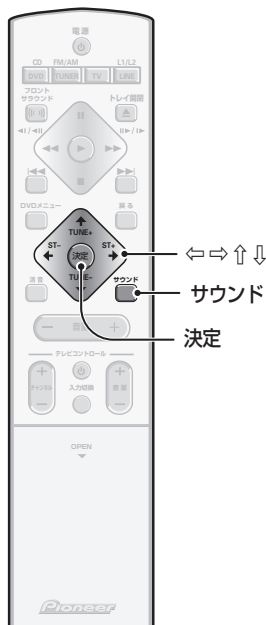
→ **CHレベルボタン**で、各スピーカーからの再生音を調整することができます。（71ページ）

PL II MUSIC モードに音響効果を加える

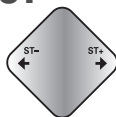
ドルビープロロジック II ミュージックモードには3つの音響効果があり、その効果を調整することができます。それぞれの説明は以下のとおりです。

C Width (CENTER WIDTH)：
センターチャンネルの音声を左右のフロントスピーカーに振り分けて出力することで、音色の不一致を緩和させることが可能になり、音楽再生により適した音場を創り出すことができます。効果は0〜7の範囲で調整することができます。0がセンタースピーカーからのみの出力で、7はセンターチャンネルの音声すべてを左右のフロントスピーカーに振り分けます。お買い上げ時は3に設定されています。

Dimen. (DIMENSION)：
リスニングポジションから前方の音場を強くするか、後方の音場を強くするかを調整することで、広がりのある音場を創り出すことができます。－3から＋3の範囲で調整することができます。－3はリスニングポジションから後方の音場が強くなり、＋3はリスニングポジションから前方の音場が強くなります。お買い上げ時は0に設定されています。

Pnrm. (PANORAMA)：
前方の音場を左右に大きく回り込ませ、サラウンドchにつなげるようなサラウンド効果を加えます。正確な定位よりも雰囲気を楽しむための機能です。オンまたはオフの設定で、お買い上げ時はオフに設定されています。

1. PL II Music モードにします（46ページ参照）

2. サウンドボタンを押します

3. ⇦ ⇨ を押して、"C Width"、"Dimen."、"Pnrm." の中から加えたい音響効果を選択します

それぞれの音響効果の詳しい説明は上記を参照してください。

4. ⇧ ⇩ で、効果レベルを調整してから決定ボタンを押します

アドバンスドサラウンド（パイオニアオリジナルのサラウンド効果）

フロントスピーカーに加え、センタースピーカーやサラウンドスピーカーも使い、パイオニアオリジナルのサラウンド効果を加えて再生するときのリスニングモードです。

- ムービー（Adv. Movie） 5.1ch
  映画再生に適したモードです。特にドルビー、DTS エンコードの映画作品をこのモードで視聴するとより効果的で、映画館で映画を楽しんでいる雰囲気を味わうことができます。

- ミュージック（Adv. Music） 5.1ch
  音楽再生に適したモードで、通常のステレオ録音されたソース（CD など）に限らずドルビー、DTS エンコードされた音楽作品を再生するときにも効果的です。コンサートホールのような雰囲気を味わうことができます。

- エキスパンデッド（Expanded） 5.1ch
  ドルビーサラウンドや2チャンネルで録音されているソースに対しては、5.1ｃｈサラウンドのような効果を実現します。また、ドルビーデジタルや DTS などの5.1ch サラウンドソフトを再生しているときも、より広がりのある音場を実現します。

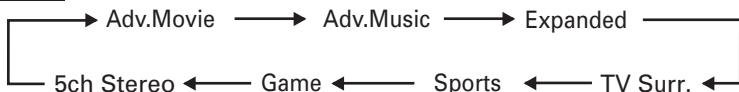
- TV サラウンド（TV Surr.） 5.1ch
  テレビ放送のほとんどの割合を占めるモノラル信号やステレオ信号もマルチチャンネルサラウンドで再生します。モノラル放送の古い映画などをマルチチャンネルサラウンドでお聴きになりたいときに効果的です。

- スポーツ（Sports） 5.1ch
  スポーツ中継の臨場感を体感できるモードです。会場の雰囲気をマルチチャンネルサラウンドで再現します。

- ゲーム（Game） 5.1ch
  ゲームのスピード感、躍動感をよりいっそう高めます。シューティングゲームやレーシングゲームなど、右へ左へ駆け巡るような流れのあるシーンの多いゲームに効果的です。

- 5ch Stereo 5.1ch
  ステレオ（Stereo）モードの音声を5.1 チャンネルにて再生するので、部屋のどの場所にいてもステレオ感をお楽しみいただけます。

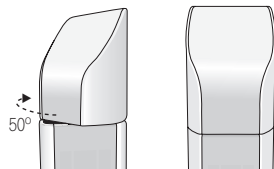
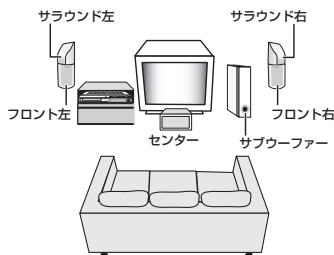
- ヘッドホンサラウンド（Phones Surround） 2 ch
  ヘッドホンで聴くときに、マルチチャンネルサラウンド再生時の臨場感をお楽しみいただけます。

メ モ

- ▼ ヘッドホンプラグを差しているときは、ヘッドホンサラウンド（Phones Surround）が選択できます。
- ▼ アドバンスドサラウンドモードを解除したいときは、**サラウンドボタン**を押してください。
- ▼ アドバンスドサラウンドモード表示中に⇧ ⇩ **ボタン**を押すことでモードを切り換えることもできます。

フロントサラウンド

フロントサラウンド3SPOT設置のときに最適な効果を発揮するモードです。天井や壁などの反射音を利用して立体音場を創り出します。

注 意

- ◆ フロントサラウンドムービーとフロントサラウンドミュージックを選択するときはサラウンドスピーカーを外側へ50°の向きになるよう調節してください。サラウンドスピーカーが正面を向いていると最適な効果が発揮できません。サラウンドスピーカーとフロントスピーカーは回転が止まるまで、しっかり回して固定してください。詳しくは別添の「スピーカー設置ガイド」をご覧ください。
- ◆ バーチャルサラウンドバックモードと併用すると本来の効果が得られませんのでフロントサラウンドモードを選択しているときは、バーチャルサラウンドバックをONにしないでください。

Frt. Movie / Frt. Music　Extra Power

- **フロントサラウンドムービー（Frt. Movie）** 5.1ch
  音に方向性を持たせ、移動感のあるサラウンド効果を得ることができます。

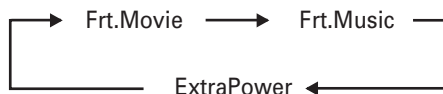
- **フロントサラウンドミュージック（Frt. Music）** 5.1ch
  音に広がり感を持たせ、包み込むようなサラウンド効果を得ることができます。

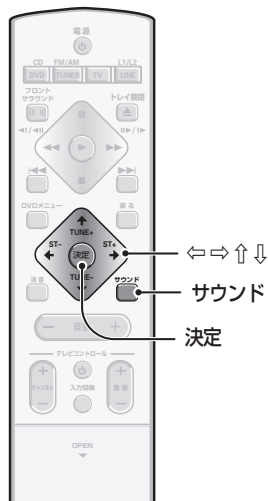
- **エキストラパワー（ExtraPower）** 5.1ch
  CDなどのステレオ（2チャンネル）音声を加工することなく、フロントスピーカーから出力し、さらにサラウンドスピーカーからも出力するため、力強いサラウンド効果を得ることができます。スピーカーは正面に向けてください。

1. フロントサラウンドボタンを押します

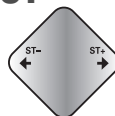
フロント
サラウンド

押すたびに、以下のように切り換わります。

メ モ

▼ ヘッドホンプラグを差しているときは、ヘッドホンサラウンド（Phones Surround）が選択できます。
▼ フロントサラウンドモードを解除したいときは、**サラウンドボタン**を押してください。
▼ フロントサラウンドモード表示中に⇧⇩ **ボタン**を押すことでモードを切り換えることもできます。

アドバンスドサラウンドまたはフロントサラウンドの効果を調整する

1. アドバンスドサラウンドまたはフロントサラウンドモードにします（49～50ページ）

2. サウンド サウンドボタンを押します

3. ⇦ ⇨ を押して、"Effect" を選択します

Effect　70

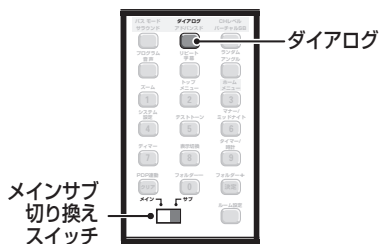
4. ⇧ ⇩ で、効果レベルを調整してから決定ボタンを押します

現在設定されているサラウンド効果を、10から90までの範囲で調整することができます。

メ モ

▼ アドバンスドサラウンドとフロントサラウンドの各モードごとに効果レベルを調整することができます。

セリフやボーカルを強調して再生する

通常センタースピーカーから聞こえるセリフをTV から聞こえるように音像を移動したり、セリフやボーカルを明瞭に再生します。2 種類の中からお好きな効果を選ぶことができます。

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. ダイアログボタンを押します

押すたびに、以下のように切り換わります。

- 通常の音質

Dialog Off

- ダイアログ効果で再生します。

Dialog Mid

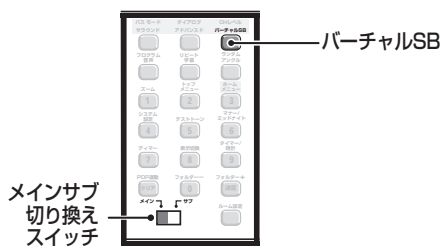
- より強いダイアログ効果で再生します。

Dialog Max

メ モ

▼ 88.2/96kHz リニア PCM 信号を再生しているときは、**ダイアログボタン**で音質を切り換えることはできません。
▼ MPEG-2 AAC 信号が入力されているときは、**ダイアログボタン**で音質を切り換えることはできません。

バーチャルサラウンドバックモード

後方中央に仮想のサラウンドバックチャンネルを創り出し、6.1ch 再生の迫力を実現します。ノーマルサラウンド5SPOT設置のときに使用すると効果的です。

1. メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

2. バーチャル SB ボタンを押します

押すたびに、以下のように切り換わります。

- 通常の音質（お買い上げ時の設定）

Vir. SB Off

- 仮想のサラウンドバックスピーカーがオンの設定

Vir. SB On

注 意

◆ バーチャルサラウンドバックモードは各スピーカーをノーマルサラウンド 5SPOT 設置のように配置したときに効果が得られます。フロントサラウンド3SPOT設置のときには適切な効果が得られませんので「Off」に設定してください。

メ モ

- ▼ 以下のときは**バーチャルSBボタン**で音場を切り換えることはできません。
  - ・88.2/96kHz リニア PCM 信号を再生しているとき
  - ・MPEG-2 AAC 信号が入力されているとき
  - ・ヘッドホンプラグを差しているとき
  - ・2.1chのリスニングモードを選択しているとき
- ▼ サラウンドチャンネルの効果がないソースでは、バーチャルサラウンドバックの効果を得ることはできません。

低音を強調する

低音だけを強調して迫力ある低音で再生します。低音の強調の違いで、3 種類の中からお好きな音質を選ぶことができます。

2.1chと5.1chの2つのモードで設定することができます。

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. **バスモードボタンを押します**

バスモード サラウンド

押すたびに、以下のように切り換わります。

- 通常の音質

Off

- 重低音を補正して、臨場感を増やした設定で、音楽ライブの DVD におすすめです。

Music

- Musicよりも更に低音を強調した設定で、アクションシーンや戦闘、爆発音の多い映画ソフトにおすすめです。

Cinema

- CDなどの音楽ソフトで、低音を強調したいときにおすすめです。

P . Bass

メ モ

- ▼ ヘッドホンプラグを差しているときは、バスモードボタンによる音質の変更はできません。
- ▼ 再生しているソースによっては、バスモードを Cinema や Music に設定しているとサブウーファーの音が歪んでしまうことがあります。このようなときは OFF に設定してください。
- ▼ お買い上げ時は 2.1chでは「Off」に、5.1chでは「Cinema」に設定されています。

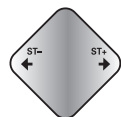
高音と低音を調整する

再生する曲の高音（Treble）と低音（Bass）の音質を、それぞれ調整することができます。

1. サウンドボタンを押します

サウンド

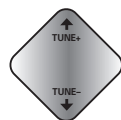
2. ⇦ ⇨ で "Bass" か "Treble" を選びます

ST– ST+

- 低音の音質を調整します

Bass 0

- 高音の音質を調整します

Treble 0

3. ⇧ ⇩ で音質のレベルを調整します

調整範囲は、±３までです。

4. 決定ボタンを押します

メ モ

▼ ミッドナイトまたはマナーモードを選択しているときは、高音と低音を調整することはできません。高音と低音の調整をしたいときはミッドナイトまたはマナーモードを「Off」にしてください。

▼ お買い上げ時は「Bass 0」、「Treble +1」に設定されています。

小さい音でサラウンドを楽しむ

・ **ミッドナイト**

音量を小さくすると、サラウンドサウンドが弱くなったり、微小な音が聴こえにくくなることがあります。この機能は、音量を小さくしても、ほどよい臨場感と高域のクリア感を確保することができるモードです。夜間に音量を小さくして映画を楽しむ場合に適しています。

・ **マナー**

夜間に音楽や映画を楽しむとき、突然の爆発音などが大きく出ることがあり、隣室などへ音もれといった迷惑をかけることがあります。この機能は、低域と高域を抑えることにより隣室などへの音もれを低減しつつ、セリフを聴き取りやすくするモードです。

1. メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

メイン サブ

2. マナー / ミッドナイトボタンを押します

マナー/ミッドナイト 6

押すたびに、以下のように切り換わります。

- 通常の音質（お買い上げ時の設定）

Off

- マナーがオンの設定

Manner

- ミッドナイトがオンの設定

Midnight

本機の時計機能を使うと、毎日同じ時刻に再生を開始して終了させることができます。
例えば、お気に入りのCDを目覚まし時計の代わりに再生させることができます。

例）午前7時40分に再生がスタートし、午前8時15分に再生が終わるようにタイマーをセットするとき

1. **再生させたい機器の準備をします**

ラジオ放送で目覚めるには....

FM/AM TUNER

TUNERボタンを押してから、好きな放送局を受信します。

CDやMP3、DVDで目覚めるには....

CD DVD

ディスクをセットし、**DVDボタン**を押します。

テレビで目覚めるには....

TV

TVボタンを押して、接続したテレビの準備しておきます。

外部機器で目覚めるには....

L1/L2 LINE

LINEボタンを押して、LINE1かLINE2を選択したあと、外部機器の再生を準備しておきます。

2. **音量の調整を行います**

設定した音量でタイマーがオンします。

ー 音量 ＋

3. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

4. タイマー/時計 9 **タイマー/時計ボタンを2回押します**

5. ST− 決定 ST+ **⇦ ⇨で"Wake－Up"を選んでから、決定ボタンを押します**

Wake－Up?

6. ST− 決定 ST+ **⇦ ⇨で" TimerEdit"を選んでから、決定ボタンを押します**

TimerEdit?

7. TUNE+ 決定 TUNE− **⇧ ⇩で開始時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、"7 am"にします。

On 7 : 00 am

8. TUNE+ 決定 TUNE− **⇧ ⇩で開始時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、"40"にします。

On 7 : 40 am

再生開始時刻が設定されます。

9. TUNE+ 決定 TUNE− **⇧ ⇩で終了時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、"8 am"にします。

Off 8 : 40 am

10.

⇧⇩で終了時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"15" にします。

Off　8 : 15 am

決定ボタンを押すと、設定内容を表示したあと、⏲ が点灯します。

11.

電源

⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

本体のタイマーインジケーターが点灯し、⏲ が消灯します。

途中で設定を中止にするには

■ボタンを押します

再度、目覚ましタイマーを設定するときは、始めから設定し直してください。

設定を解除 / 再設定するには

1.

電源

⏻電源ボタンを押して電源をオンにします

2.

メイン　サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

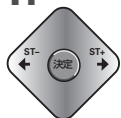
3.

タイマー/時計

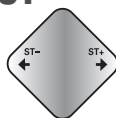
9

タイマー / 時計ボタンを２回押します

4.

ST–　決定　ST+

⇦ ⇨で"Wake－Up"を選んでから、決定ボタンを押します

Wake－Up?

5.

⇦ ⇨で"Timer Off"にします

目覚ましタイマーが解除されます。

Timer Off?

再設定する場合は、⇦ ⇨で"Timer On" にします

Timer On?

6.

決定

決定ボタンを押します

メ モ

▼ 再生させたい機器や音量ボリュームなどの設定した内容は、解除しない限り毎日同時刻に実行されます。

注 意

◆ 時計を合わせていないと、タイマーの設定はできません。（22 ページ）

◆ 停電したり電源コードを抜いたりすると、時計表示は点滅して動作しません。この場合は目覚ましタイマーの設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためて目覚ましタイマーを設定し直してください。

◆ 開始時刻と終了時刻を同じにすると、目覚ましタイマーは動作しません。

スリープタイマー

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。音楽を聞きながら眠ったりするときに便利です。
設定できる時間は、90分、60分、30分の3種類と、スリープオートです。

1. メイン サブ
メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換える

2. タイマー/時計 9
タイマー/時計ボタンを2回押します

3.
⇦ ⇨ で"Sleep"を選んでから、決定ボタンを押します

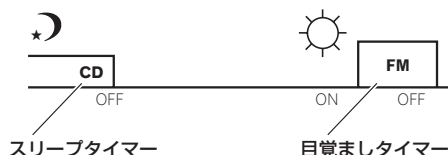
4.
⇧ ⇩ で終了するまでの時間を設定します

* スリープオート(Auto)
CD、WMA、MP3の再生中またはVIDEO CDでPBCをオフで再生中に選ぶことができます。
再生が終了して本機が停止してから約1分後に自動的に電源が切れます。

5. 決定
決定ボタンを押します

スリープタイマーを設定すると、表示部の ☾ が点灯します。

注 意

- ◆ スリープ動作中の表示の明るさは、"Dimmer On"の設定になります。(73ページ)
- ◆ 目覚ましタイマー、スリープタイマーのタイマー動作が重なったときは、先に動作する方が優先します。
- ◆ スリープオートはリピートを設定していると選択することができません。
- ◆ スリープタイマーと目覚ましタイマーを組み合わせて使うことができます。
  例えば、夜はCDを聞きながらスリープタイマーで電源をオフにして寝て、朝はFMで目覚めるといったことができます。

1. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. **ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます**

3. **[初期設定]を選択して、決定ボタンを押します**

ディスクの再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

4. **⇧⇩⇦⇨ ボタンと決定ボタンを使って、各項目を設定します**

●：お買い上げ時の設定

デジタル音声モード

設定項目	設定内容
DD Digital 出力 接続する外部機器がドルビーデジタル音声に対応していないときに、[Dolby Digital ＞ PCM]を選択します。	●**DD Digital**：ドルビーデジタル音声のまま出力したいとき。 ○**DD Digital ＞ PCM**：ドルビーデジタル信号をリニア PCM 信号に変換して出力したいとき。[Dolby Digital ＞ PCM]を選択すると、本システムのスピーカー出力もドルビーデジタル信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。
96kHz PCM 出力 接続する外部機器が96kHz音声に対応していないときに、[96kHz>48kHz]を選択します。	○**96kHz＞48kHz**：96kHzの信号を48kHzに変換して出力したいとき。 ●**96kHz**：96kHz のまま出力したいとき。

メ モ

▼ 本機を外部機器と光デジタル接続するときに必要な設定です。ここでの設定は本システムのスピーカー出力に対しても有効になります。

●：お買い上げ時の設定

映像出力

設定項目	設定内容
テレビ画面 お使いのテレビに合わせてテレビ画面の縦横比を設定します。	●**4:3(レターボックス):** 従来サイズのテレビと接続して、16:9の映像をレターボックス方式(画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を再現する方式)で見たいとき。 ○**4:3（パンスキャン）:** 従来サイズのテレビと接続して、16:9の映像をパンスキャン方式(16:9の映像の左右をカットして4:3の画面全体に映し出す方式)で見たいとき。**この設定はディスクが対応していないとできません。** ○**16:9 :** ワイド（16:9）テレビと接続したとき。

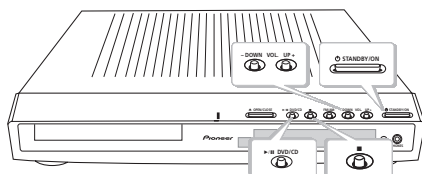
お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき		お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき	
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像　4:3の映像	16:9(ワイド)	16:9の映像　4:3の映像
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像　4:3の映像		

＊画面の比率（アスペクト比）の切り換えができないディスクもあります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

設定項目	設定内容
D2 映像出力 D1/D2映像端子に出力される映像をインターレースかプログレッシブに設定します。	○**プログレッシブ :** プログレッシブ映像信号に対応しているテレビまたはプロジェクターのとき。 ●**インターレース :** プログレッシブ映像信号に対応していないテレビまたはプロジェクターのとき。 ➡ **[プログレッシブ]**を選択して決定を押すと確認の画面が出ます。変更を行う場合は、決定ボタンを押してください。変更しない場合は、その他のボタンを押してください。

▼ **[プログレッシブ]**と**[インターレース]**を切り換えるとき、映像が乱れることがあります。
▼ **[プログレッシブ]**と**[インターレース]**を再生中に切り換えることはできません。ディスクを停止させてから切り換えてください。

注 意

◆ 映像出力端子、またはS1/S2映像出力端子にのみ接続しているとき、またはプログレッシブ入力に対応していないテレビとD映像接続（74ページ）しているときは、**[プログレッシブ]を選択しないでください。映像が出力されません。選択してしまったときは、下記の方法で[インターレース]に切り換えてください。**

1. 本機を待機（スタンバイ）状態にします

電源が入っているときは、本体の⏻電源ボタンを押します。

2. 本体の■ボタンを8秒間押し続けます

以下のように表示されます。

Mem. Clr.?

3. 本体のVOLUME UP ＋または DOWN －ボタンのどちらかを押します

以下のように表示されます。

InterLace?

4. 本体の►/II ボタンを押します

電源がオンになり、映像出力が**[インターレース]**になります。

設定項目	設定内容
S 映像出力 S 映像端子から出力される映像信号をS1に切り換えます。	○ **S1**：S1 映像信号を出力するとき。 ● **S2**：S2 映像信号を出力するとき。

注 意

◆ 本機とテレビをS映像端子で接続しているとき、TVによっては映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは[S1]を選択してください。

●：お買い上げ時の設定

言語

設定項目	設定内容
音声言語 DVD ビデオの音声言語を変更します。	●**日本語**：日本語にするとき。 ○**英語**：英語にするとき。 ○**その他の言語**：136 言語の中から任意の音声を選びます。（64 ページ） ▼ ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。 ▼ ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンの**DVDメニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから音声の言語を選択してください。
字幕言語 DVD ビデオの字幕言語を変更します。	●**日本語**：日本語にするとき。 ○**英語**：英語にするとき。 ○**その他の言語**：136 言語の中から任意の字幕を選びます。（64 ページ） ▼ ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。 ▼ ディスクによっては、字幕の言語をディスクメニューを使用して選択するようになっています。このときは、リモコンの**DVD メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選択してください。
DVD メニュー言語 DVDビデオのディスクメニューに表示する言語を変更します。	●**字幕言語に連動**：[**字幕言語**]で選択されている言語でメニュー画面を表示するとき。 ○**日本語**：日本語でメニュー画面を表示するとき。 ○**英語**：英語でメニュー画面を表示するとき。 ○**その他の言語**：136 言語の中から任意の言語を選びます。（64 ページ）
字幕表示 DVD ビデオの字幕を表示する / しないを設定します。	●**オン**：字幕を表示するとき。 ○**オフ**：字幕を表示しないとき。ただし、DVD ビデオの中には強制的に字幕を表示するディスクもあります。

●：お買い上げ時の設定

表示

設定項目	設定内容
画面表示言語 テレビ画面の操作表示言語を設定します。	●**日本語**：操作表示言語を日本語にするとき。 ○ **English**：操作表示言語を英語にするとき。
画面表示 画面に操作表示（**[再生]**、**[停止]**など）を出す／出さないを設定します。	●**オン**：画面に操作表示をするとき。 ○**オフ**：画面に操作表示をするとき。
アングルマーク表示 アングルマーク（🎥）を表示する／しないを設定します。	●**オン**：テレビ画面に🎥マークを表示するとき。 ○**オフ**：テレビ画面に🎥マークを表示しないとき。

オプション

設定項目	設定内容
視聴制限 暴力シーンなどを含むDVDビデオには、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルを小さくしておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。	◆**暗証番号** ◆**レベル変更** ◆**国コード**

➡ **暗証番号を登録するには**

①**[暗証番号]を選んで決定ボタンを押します**

②**メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます**

③**数字（0～9）ボタンで4桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押します**

▼ 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。

▼ 暗証番号を忘れてしまったときは、本機を初期化して、再度設定してください（102ページ）。

▼ ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

▼ 視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されていることがあります。このときは、暗証番号を入力しないと再生することができません。

➡ 暗証番号を変更するには

①[暗証番号]を選んで決定ボタンを押します
②メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます
③数字（0～9）ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定ボタンを押します
④数字（0～9）ボタンで新しい暗証番号を入力して、決定ボタンを押します

➡ レベルを変更するには

①[レベル変更]を選んで決定ボタンを押します
②メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます
③数字（0～9）ボタンで４桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押します
④ レベルを選んでから、決定ボタンを押します

➡ 国コードを変更するには

国コード表（65 ページ）を見ながら操作してください。

①[国コード]を選んで決定ボタンを押します
②メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます
③数字（0～9）ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定ボタンを押します
④数字（0～9）ボタンで[コード]、または⇧⇩で[国コード表]を入力してから、決定ボタンを押します

▼ 国コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

フォトビューワー

JPEG 以外のファイル / ディスクの再生を設定します

●**オン :** JPEG 、フジカラーCD、およびコダックピクチャー CD を再生するときに選択します。

○**オフ :** JPEG 以外のディスクを再生するときに選択します。JPEG と WMA/MP3 のファイルが混在しているディスクの WMA/MP3 を再生するときはこちらを選択します。

▼ [フォトビューワー]の設定を変更したときには、一度ディスクを取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

言語の設定でその他の言語を選んだとき

言語コード表（65 ページ）にある 136 言語の中から選ぶことができます。DVD に収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1. [その他の言語]を選択して、決定ボタンを押します

2. ⇧⇩⇦⇨ ボタンまたは数字ボタンを使って（数字ボタンを使うときはメインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます）[言語表]または[コード]を選んでから、決定ボタンを押します

言語によってはコード番号しか表示されないものもあります。詳しくは言語コード表（65 ページ）をご覧ください。

言語コード表

言語名(言語コード), **入力コード**

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国コード表

国名 , **入力コード , 国コード**

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

サラウンドに関する設定の設定項目と内容

録音モード（76 ページ）が ON のときは、以下の「サラウンドに関する設定」を変更することはできません。

メ モ

▼ 5 分間ボタン操作がない場合には、設定モードを終了します。

各スピーカーまでの距離の設定 （67 ページ）

リスニングポジション（視聴位置）からフロント、センター、サラウンドスピーカーまでの距離を設定します。それぞれのスピーカーまでの距離を入力することによって、その差に生じる音のタイミングのズレが自動的に補正され、リスニングポジションで適切な音場効果を得ることができます。

ダイナミックレンジコントロールの設定 （68 ページ）

ダイナミックレンジとは再生能力を表す用語で、どのくらい小さな音からどのくらい大きな音までをきちんと（小さな音はノイズに埋もれずに、大きな音は歪まずに）再生できるかを数値（dB）で表したものです。ダイナミックレンジコントロールとは、このダイナッミックレンジを圧縮する機能です。音量を下げて映画を楽しむときなどは、ダイナミックレンジを圧縮すると微小な音も聞きやすくなり、映画をより一層楽しむことができます。

DRC Off ： ダイナミックレンジを圧縮せずにソフトに収録されたまま再生します。（お買い上げ時の設定）
DRC Mid ： ダイナミックレンジを少し圧縮します。
DRC High ： ダイナミックレンジを最も圧縮します。

・ この機能の効果が得られるのは、ダイナミックレンジコントロール対応のドルビーデジタルまたはDTSソフトだけですが、他のソフトを小音量で楽しむときにはミッドナイトモード（54ページ）が効果的です。

デュアルモノの設定 （68 ページ）

1+1 デュアルモノラル信号とは、モノラルの音声チャンネルを2つ持つデジタル信号のことで、ここではデュアルモノラル信号が入力されたときにどちらの音声をどのスピーカーから出力するかを設定します。この設定は以下のような 1+1 デュアルモノラルフォーマットのソースにのみ有効です。(設定されているリスニングモードなどにより音声が出力されるスピーカーは異なります)

・ BS デジタル放送のモノラルの二か国語放送や音声多重放送など
ステレオの二か国語放送などはデュアルモノラルとは異なるフォーマットになります。

・ 二か国語放送などを DVD レコーダーの VR モードで録画したもの
ただし、録画モードによってはデュアルモノラルと異なるフォーマットになります。（詳しくは DVD レコーダーの取扱説明書をご覧ください）

Ch1 Mono ：チャンネル 1 の音声のみを出力します。リスニングモードがオート（Auto）モードに設定されているときは、センタースピーカーから出力されます。（お買い上げ時の設定）
Ch2 Mono ：チャンネル 2 の音声のみを出力します。リスニングモードがオート（Auto）モードに設定されているときは、センタースピーカーから出力されます。

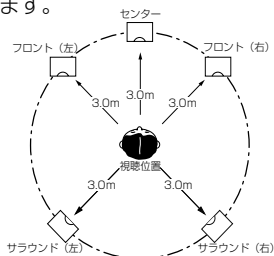
L-Ch1 R-Ch2　：チャンネル1の音声とチャンネル2の音声を出力します。リスニングモードがオート（Auto）モードに設定されているときは、左のフロントスピーカーからチャンネル1の音声を、右のフロントスピーカーからチャンネル2の音声を出力します。

LFE アッテネータの設定　（69 ページ）

ドルビーデジタル信号やDTS信号に含まれるLFE成分（超低域信号成分）の信号レベルが大きすぎて、スピーカーから出る音に歪みが生じてしまう場合に、その信号レベルをアッテネート（減衰）する量を設定することができます。

LFE ATT 0　：収録されているレベルのまま再生します。（お買い上げ時の設定）
LFE ATT 10　：レベルを 10dB アッテネート（減衰）します。
LFE Off　： LFE成分の音が出なくなります。

各スピーカーまでの距離の設定

ここで設定を行ったあとにルーム設定（7ページ）を行うと、選択したルームタイプの設定値が優先されます。

Front　3.0m
Center　3.0m
Surr.　3.0m

他の項目の設定操作から続けて行うときは手順３から始めます。

1. メイン　サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. システム設定 4 **システム設定ボタンを押します**

3. ST– ST+ **⇦ ⇨で、各スピーカーまでの距離の設定モードを選びます**

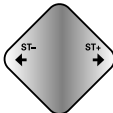
押すたびに各項目が切り換わり、現在の設定内容が表示されます。リスニングモードがフロントサラウンドのときはサラウンドスピーカーまでの距離は自動で設定されますので、選択することができません。

4. **⇧ ⇩で、各スピーカーまでの距離を設定します**

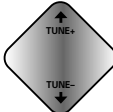
0.3～9mの間を0.3m間隔で設定できます。

5. **続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順３から始めます**

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

メ モ

▼ フロントスピーカーまでの距離を設定すると、自動的にサブウーファーまでの距離もフロントスピーカーと同じ距離に設定されますので、サブウーファーとフロントスピーカーは視聴位置からほぼ同じ距離になるように設置してください（サブウーファーまでの距離の設定はありません）。

ダイナミックレンジ(音声の強弱の幅)を調整する

他の項目の設定操作から続けて行うときは手順３から始めます。

1. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. **システム設定ボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で、ダイナミックレンジコントロールの設定モードを選びます**

押すたびに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

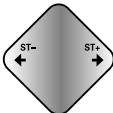
DRC　　Off

4. **⇧ ⇩ で、Off、Mid または High を選びます**

以下のように切り換わります。

5. **続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順３から始めます**

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

メ モ

▼ 小さい音量で楽しむ場合は、High に設定することをおすすめします。
▼ この設定はダイナミックレンジコントロール対応のドルビーデジタルまたは DTS ソフトにのみ効果があります。

デュアルモノの設定

他の項目の設定操作から続けて行うときは手順３から始めます。

1. **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. **システム設定ボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で、デュアルモノの設定モードを選びます**

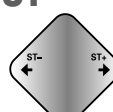
押すたびに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

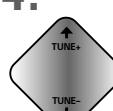
Ch1　Mono

4. **⇧ ⇩ で、再生するスピーカーと音声チャンネルを設定します**

以下のように切り換わります。

Ch1 Mono ⟷ Ch2 Mono → L-Ch1 R-Ch2 → Ch1 Mono

5. **続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順３から始めます**

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

LFE アッテネータの設定

他の項目の設定操作から続けて行うときは手順３から始めます。

1. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. システム設定 4

システム設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で、LFE アッテネータの設定モードを選びます

押すたびに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

LFE　ATT　　0

4.

⇧ ⇩ で、アッテネート（減衰）量を選びます

以下のように切り換わります。

5.

続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順３から始めます

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

メ モ

- ▼ すべてのアッテネート（減衰）量で試し、最適な状態に設定することをおすすめします。
- ▼ ドルビーデジタルや DTS のように、再生するソフトに LFE の専用チャンネルがある場合にのみ効果があります。

スピーカー出力レベルの調整

あるスピーカーからの音のみを大きくしたり小さくしたいときに、そのチャンネルのレベルを調整することができます。出力レベルはサラウンドモードのときは2.1chと5.1chに、アドバンスドサラウンドモードとフロントサラウンドモードのときは、各モードごとに設定することができます。

テストトーンで調整する

1. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをメイン側に切り換えます

2. バスモード サラウンド

または

ダイアログ アドバンスド

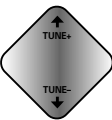
または

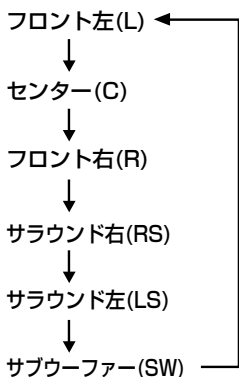
フロント サラウンド

調整したいリスニングモードを選択します(45ページ)

3. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

4. テストトーン 5

テストトーンボタンを押します

以下の順番で、各チャンネルのテストトーン（ザーという音）が、自動的に切り換わって出力されます。

5.

お好みの音量に調整します

「Volume 40」以下に設定してください。

− 音量 ＋

6. TUNE+ TUNE−

⇧⇩で、テストトーンが出力されているスピーカーの出力レベルを調整します

各スピーカーからの音が同じ大きさに聞こえるように調整してください。チャンネルレベルは±10dBの範囲で調整できます。

7. テストトーン 5

すべてのスピーカーの調整が終了したら、テストトーンボタンを押します

テストトーンが止まり、出力レベル調整を終了します。

メ モ

- ▼ サブウーファーのテストトーンは、周波数が低いので実際のレベルより小さく聞こえます。
- ▼ サブウーファーの調整は音楽や映画ソースなどを実際に使って適切な値に調整してください。
- ▼ オートモードでテストトーンを出力したときは、再生しているソースによらず、5.1ch用の設定値が表示され、調整することができます。
- ▼ リスニングモードが2.1chモードのときは、センターおよびサラウンドスピーカーからはテストトーンが出力されません。

注 意

- ◆ この設定は、ヘッドホン出力には反映されません。

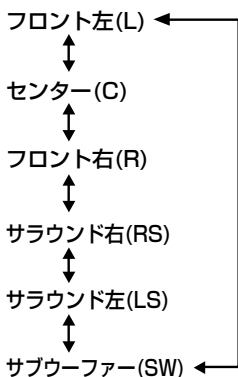
再生しているディスクで調整する

1. お好みのディスクを再生します

2.

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

3. CHレベル バーチャル SB
CH レベルボタンを押します

4. ⇦ ⇨ で、出力レベルを調整するチャンネルを選びます

リスニングモードが 2.1ch モードのときは、センターおよびサラウンドチャンネルの出力レベルを調整することはできません。

5. ⇧ ⇩ で、各チャンネルの出力レベルを調整します

TUNE+
TUNE–

チャンネルレベルは、±10dBの範囲で調整できます。

6. 手順４から５を繰り返して各スピーカーのレベルを調整します

7. 決定
決定ボタンを押します

メ モ

▼ ヘッドホンを挿入しているときは出力レベルを調整することはできません。

注 意

◆ この設定は、ヘッドホン出力には反映されません。

チャイルドロック機能を使う

この機能をオンにすると、本体の操作ボタンがすべて使用できなくなります。
小さなお子さまのいる家庭でのいたずら防止に便利な機能です。
お買い上げ時は、チャイルドロック機能は Off に設定されています。

1. 電源

⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

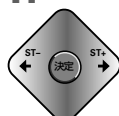
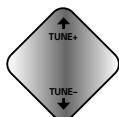
3. システム設定 4

システム設定ボタンを押します

4. ST− 決定 ST+

⇦ ⇨ で "ChildLock" を選んでから、決定ボタンを押します

ChildLock?

5.

⇧ ⇩ で、チャイルドロック機能のオン / オフを選びます

チャイルドロック機能のOnのとき

Lock On?

チャイルドロック機能のOffのとき

Lock Off?

6. 決定

決定ボタンを押します

時計の表示モードをかえる

時計の表示を、12時間表示と24時間表示とに切り換えることができます。
お買い上げ時は、12時間表示になっています。

1. 電源

⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

3. システム設定 4

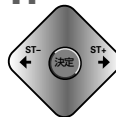
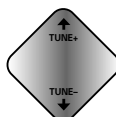
システム設定ボタンを押します

4. ST− 決定 ST+

⇦ ⇨ で "12/24 Hour" を選んでから、決定ボタンを押します

12/24 Hour?

5.

⇧ ⇩ でお好きな表示を選択します

24 時間表示

24−Hour?

12 時間表示

12−Hour?

6.

決定ボタンを押します

表示全体の明るさをかえる

部屋の明るさに応じて、表示の明るさを暗くすることができます。ディマー機能といいます。お買い上げ時は、通常の明るさに設定されています。

1. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

2. ディマー 7

ディマーボタンを押します

押すたびに、表示の明るさが2段階で切り換わります。

暗い設定

Dimmer On

通常の明るさの設定

Dimmer Off

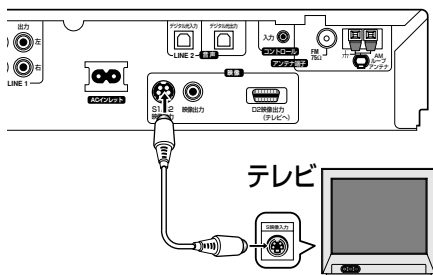
より鮮明な映像でテレビを見るための接続

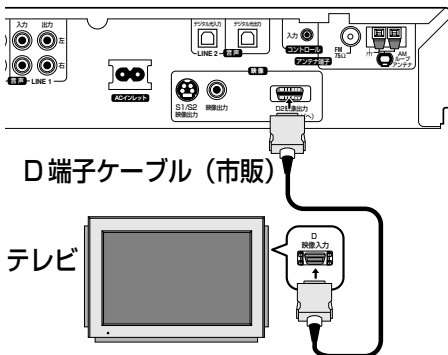
別冊の「システムセットアップガイド」では、付属の映像ケーブルを使用した接続方法でしたが、以下の接続を行うと、より鮮明な画像でDVDを楽しむことができます。

メモ

▼ 映像出力端子、またはS1/S2映像出力端子に接続しているときや、プログレッシブ入力に対応していないテレビとD映像接続しているときは、映像の出力方式を**[インターレース]**（60ページ）に設定してください。**[プログレッシブ]**に設定してしまうと映像が何も出なくなります（59ページ）。接続しているテレビがプログレッシブ入力に対応しているかテレビの取扱説明書をご覧ください。

S映像入力端子付きテレビの場合

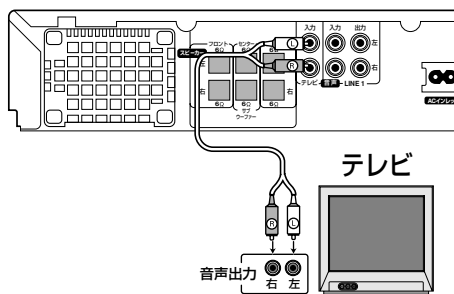
S映像入力端子を持っているテレビと、本機の**S1/S2映像出力**とを市販のSビデオケーブルで接続すると、映像入力端子につなぐより鮮明な映像になります。
映像が横方向に引き伸ばしたように見える場合は、60ページを参照して、S1に設定してください。

D端子対応のテレビの場合

市販のD映像ケーブルで接続します。本機の高品位な映像品質を楽しむときに最も適した接続です。本機の**D2映像出力端子**は、接続するテレビのD1、D2、D3、またはD4のいずれの入力端子にも接続することができます。

テレビの音声を本機で聞くための接続

本機に接続したテレビの音声を、本機のスピーカで楽しむことができます。

接続のしかた

本機の**音声 / テレビ入力端子**と、接続したテレビの出力端子とを、市販のオーディオコード（ピンプラグ付接続コード）で接続します。

● 詳しくは、接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。

本機で聞くには

TV ボタンを押します

メ モ

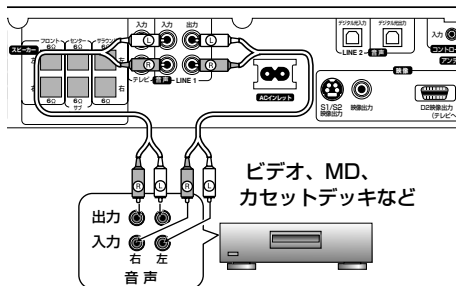
▼ マルチチャンネル (5.1ch) 再生にしたいときは、リスニングモードを**5.1ch**に切り換えてください。（45 ページ）

ビデオやカセットデッキなどを本機で聞くための接続

CD-R、MD、カセットデッキなどのアナログ入出力端子のある機器を、本機に接続することができます。これにより、接続した機器で本機の音声を録音したり、接続した機器を本機のスピーカーから聞いたりすることができます。

接続のしかた

本機の**LINE1 入力端子**と接続機器の出力端子、本機の **LINE1 出力端子**と接続機器の入力端子とを、それぞれ市販のオーディオコード（ピンプラグ付接続コード）で接続します。

● 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

本機で聞くには（アナログにする）

LINE ボタンを押して、LINE1 にします

押すたびに、LINE1 とLINE2の入力が切り換わります。

メ モ

▼ マルチチャンネル (5.1ch) 再生にしたいときは、リスニングモードを**5.1ch**に切り換えてください。（45 ページ）

外部機器音声の歪みを減らす

本機の音声入力端子**「LINE1 入力」**または**「テレビ入力」**にアナログ接続した外部機器の音声を本機で再生していると、歪んでいるように感じられる場合があります。これは入力信号が大きすぎることが考えられ、アッテネーター（減衰器）をオンにセットすると改善されることがあります。
アッテネーターの設定は、**「テレビ入力」**または**「LINE1 入力」**の各端子ごとに設定することができます。

1. 電源

⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

2. メイン サブ

メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます

3. システム設定 4

システム設定ボタンを押します

4.

⇦ ⇨ で設定したい入力を選んで、決定ボタンを押します

TV 入力を選んだとき

LINE1 入力を選びます。

LINE1 ATT?

5.

⇧ ⇩ で最適な減衰値を選んでから、決定ボタンを押します

ATT 6dB

ATT 6dB?

ATT 10dB

ATT 10dB?

ATT なし

ATT Off?

カセットなどのアナログ機で本機の音声を録音するには

本機の **LINE1 出力端子**から出力される音声を録音する場合は下記の手順に従って録音モードを On に設定してください。
Off に設定されていると、本機を操作したときにLINE1出力音声が途切れてしまい、途切れたまま録音されてしまいます。
録音モードが On のときは以下のボタン操作を行うことはできません。
・サラウンド　・アドバンスド　・ダイアログ
・バーチャルSB　・バスモード　・ルーム設定
・フロントサラウンド　・マナー/ミッドナイト
・テストトーン

1. サウンド

サウンドボタンを押します

2.

⇦ ⇨ で "Rec Mode" を選択して、決定ボタンを押します

Rec Mode?

3.

⇧ ⇩ で "R.Mode On" または "R.Mode Off" にします

On にするとき

R.Mode On?

Off にするとき

R.Mode Off?

4. 決定

決定ボタンを押します

メ モ

▼ ドルビーデジタルのマルチチャンネル音声を再生しているときに録音モードをOnに設定するとLINE出力端子からはサラウンドエンコード（Lt/Rt）ダウンミックスされた音声が出力されます。その音声をドルビープロロジックデコーダを搭載した機器で再生する場合に適しています。

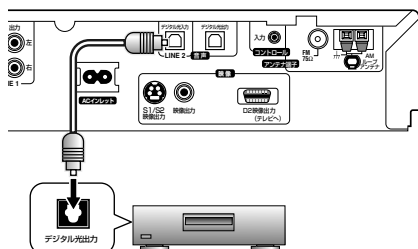
▼ 電源をオフにしたり、本機の入力を切り換えると録音モードは自動的に「Off」になります。

BSチューナーやゲーム機などの音声を本機で聞くには

BSチューナー、CSチューナー、ゲーム機などの機器を本機にデジタルで接続し、本機で聞くことができます。これにより、5.1ch対応のゲームを、立体音場で楽しむことができます。

接続のしかた

市販の光ケーブルで、本機の**LINE2デジタル光入力端子**と接続する機器のデジタル光出力端子とを接続します。

● 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

BSチューナー、ゲーム機など

本機で聞くには（デジタル入力にする）

L1/L2
LINE

LINEボタンを押して、LINE2にします

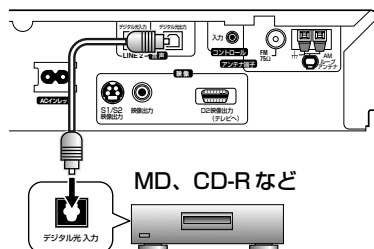
押すたびに、LINE1とLINE2の入力が切り換わります。

MDやCD-Rなどのデジタル機器で本機の音声を録音するには

MDやCD-Rなどの機器にデジタルで接続し、本機の音声をデジタル録音することができます。

接続のしかた

別売の光ケーブルで、本機の**デジタル光出力端子**と接続する機器のデジタル光入力端子とを接続します。

● 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

注 意

◆ TUNERの音声や、テレビ入力、LINE1入力端子から入力した音声を**デジタル光出力端子**から出力させることはできません。

Q&A

Q1: 外部接続したデジタル機器にデジタル録音ができない！

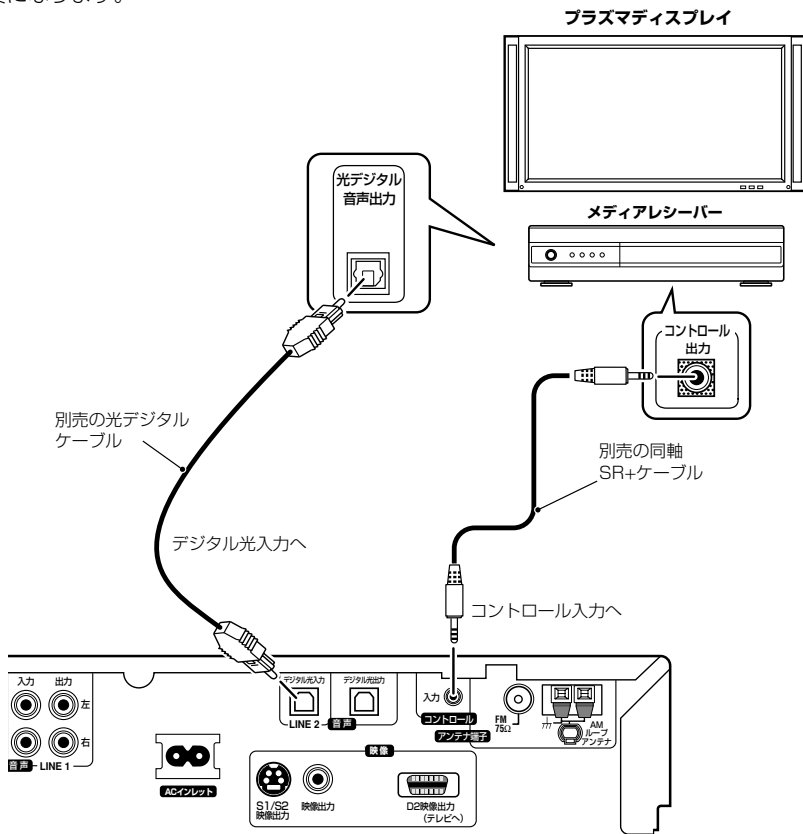
→ デジタル録音されたCD-Rを、さらに別のデジタル機器に録音することはできません。

→ ラジオ放送は、デジタル録音ができません。

→ DVDなど、デジタル録音が禁止されているソフトを録音することはできません。

パイオニアプラズマディスプレイと連動させるための接続

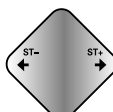
パイオニアのプラズマディスプレイと連動接続するには専用のSR+ケーブルが必要となります。詳しくはパイオニア受注センターへご連絡ください。（パイオニア部品番号 ADE7095）

SR+に対応したプラズマディスプレイ（PDP-504HDおよびPDP-434HD）をSR+ケーブルで接続することで本機の入力を切り換えたとき自動でプラズマディスプレイの音量を本機に連動させて切り換えることができます。
本機とプラズマディスプレイを連動させて切り換えるには、下記の接続および設定（79ページ）が必要になります。

注 意

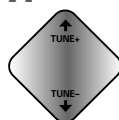
◆ SR+ケーブルを接続した状態でプラズマディスプレイの電源が切れているときは、リモコンで本機の操作ができません。
◆ SR+ケーブルを本機のコントロール入力端子に接続すると、本機のリモコン受光部は信号を受け付けません。リモコン操作をするときはリモコンをプラズマディスプレイのリモコン受光部に向けてください。

接続したプラズマディスプレイとの連動設定

SR＋ケーブルで接続することでシステム動作を実現します。以下の「連動モードの設定」をONにすることで「音量連動モードの設定」と「入力連動モードの設定」を設定することができます。本機とプラズマディスプレイをシステム連動させるには、接続（78ページ）および以下の設定が必要となります。

メモ

▼ 以下の設定をする前に本機とプラズマディスプレイをSR＋ケーブルで接続して（78ページ）、本機とプラズマディスプレイの電源を入れてください。

連動モードの設定

「ON」に設定すると各種連動機能が有効になります。

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. システム設定 4 **システム設定ボタンを押します**

3. **⇦ ⇨で、連動モードを選びます**

押すたびに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

SR+　On

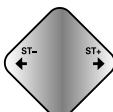
4. **⇧ ⇩で、ONまたはOFFを選びます**

以下のように切り換わります。

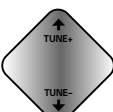
SR+ On ⟷ SR+ Off

5. **続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順3から始めます**

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

音量連動モードの設定

連動モードを実行したとき（81ページ）にプラズマディスプレイの音量を下げるかどうか設定します。

「ON」に設定すると連動モードを実行したとき瞬時にプラズマディスプレイの音量が0になります。

「連動モード」（左記）を「ON」に設定していないときは音量連動モードを設定することができません。

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

2. システム設定 4 **システム設定ボタンを押します**

3. **⇦ ⇨で、音量連動モードの設定モードを選びます**

押すたびに各項目の設定モードが切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

Vol　C.Off

4. **⇧ ⇩で、ONまたはOFFを選びます**

押すたびに各項目の設定モードに切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

Vol C.On ⟷ Vol C.Off

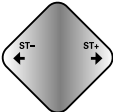
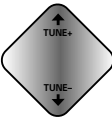
5.

続けて他の項目の設定を行うときは、各項目の設定方法の手順３から始めます

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

メ モ

▼ 再度プラズマディスプレイの音を出したいときはプラズマディスプレイの音量を上げてください。

入力連動モードの設定

本機（音声）とプラズマディスプレイ（映像）の入力を合わせるための設定です。本機の音声入力（DVD、TV、LINE1、LINE2）にプラズマディスプレイの映像入力（ビデオ１、2、3、4、PC(5)）に接続した機器またはテレビの音声を接続するかを設定します。
この設定により本機の入力切換とプラズマディスプレイの入力切換が連動します。
「連動モード」（81 ページ）を「ON」に設定していないときは入力連動モードを設定することができません。

1. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

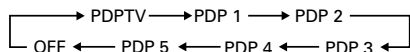
2. システム設定 4 **システム設定ボタンを押します**

3. **⇦ ⇨で、各入力の連動モードを選びます**

押すたびに各項目の設定モードが切り換わり、現在の設定内容が表示されます。

DVD→PDP 3

4. **⇧ ⇩で、接続に合わせてプラズマディスプレイの入力を切り換えます**

押すたびにプラズマディスプレイの入力が以下のように切り換わります。

OFF のときは入力切換は連動しません。

たとえば、本機の映像出力端子とプラズマディスプレイのビデオ入力１端子に接続したときは、「DVD」入力を「PDP 1」に切り換えます。
工場出荷時の本機の入力とプラズマディスプレイの入力は以下のように対応しています。

本機の入力	PDPの入力
DVD	PDP 3
TV	PDPTV
LINE 1	PDP 1
LINE 2	OFF（連動しない）

メディアレシーバーの光デジタル音声出力を本機のLINE2デジタル光入力端子に接続したとき（78 ページ）にプラズマディスプレイ（PDP）の BS デジタル放送を選ぶときは、本機の入力をLINE2に切り換えてからPDPの入力を切り換えてください。

5.

他の入力を合わせたいときは手順３～４の操作を行います

設定モードを終了するには決定ボタンを押します

連動モード実行

本機とプラズマディスプレイがSR+ケーブルで接続されていることを確認してください。

1. **プラズマディスプレイの電源を入れます**

2. 電源 **本機の電源を入れます**

3. メイン サブ **メインサブ切り換えスイッチをサブ側に切り換えます**

4. PDP連動 クリア **PDP連動ボタンを押します**

SR+CHECKと表示されたあと、表示窓に以下のように表示されます。

SR+　On

連動モードを解除したいときは再度PDP連動ボタンを押します。

5. **システム動作を確認します**

以下の操作を行うと本機とプラズマディスプレイが連動して動作します。
・本機の入力を切り換えるとプラズマディスプレイの入力が切り換わります。

注 意

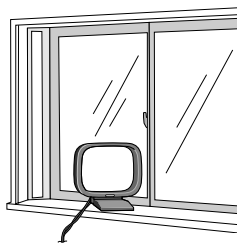
◆ SR+ケーブルを本機のコントロール入力端子に接続すると、本機のリモコン受光部は信号を受け付けません。リモコン操作をするときはリモコンをプラズマディスプレイに向けてください。

メ モ

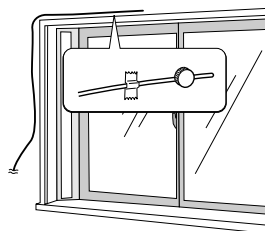
▼ プラズマディスプレイの電源がOFFのときまたは正しく接続されていないときは連動モードは働きません。
▼ 入力連動モードを設定していない入力のときは、プラズマディスプレイの画面は切り換わりません。
▼ SR+ケーブルを接続した状態でプラズマディスプレイの電源が切れているときはリモコンで本機の操作ができません。
▼ SR+ケーブルを接続していないときにPDP連動ボタンを押すとSR+Checkと表示されたあと、SR+Errorと表示されます。

アンテナ端子のアースマーク(⏚)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

AM ループアンテナ：

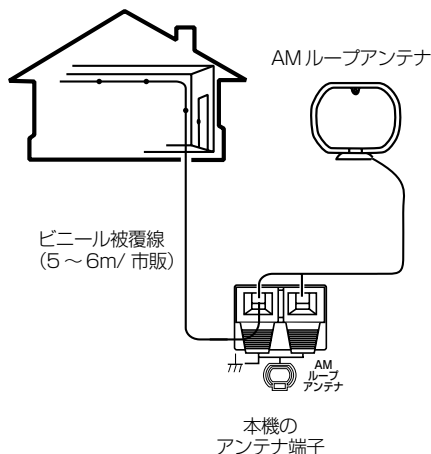
- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。

- できるだけ窓の近くに置くなど、置く位置や向きを変えて受信しやすい状態を探してください。

FM 簡易アンテナ：

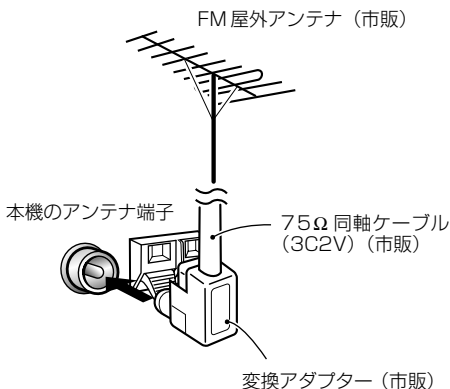
- 付属のFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- 受信状態の良い方向が決まったら、画鋲やテープで貼り付けます。

- 付属のFM簡易アンテナは、FM放送を手軽に受信するためのものです。より良い受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

付属アンテナでよく聞こえないとき

AM 外部アンテナをつなぐ

- AM 外部アンテナ（市販のビニール被覆線）を下図のように接続してください。

FM 屋外アンテナをつなぐ

- 市販のFM屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと変換アダプターを使って、下図のように接続してください。

再生できるディスクについて

DVD-R ディスクの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマットで記録されたDVD-R ディスクを再生することができます。
- ファイナライズしていないDVD-Rディスクを再生することはできません。

DVD-RW ディスクの再生について

- 本機は DVD ビデオフォーマット、または VR モードで記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。
- 本機は再生専用機です。DVD-RWディスクに録画することはできません。
- ファイナライズしていない DVD ビデオフォーマットの DVD-RW ディスクを再生することはできません。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。また、DVD ビデオフォーマット記録、および VR モードでの記録については 91 ページもあわせてご覧ください。
VR モードで記録できるディスクは DVD-RW だけです。また、VR モードで記録された DVD-RW を本機にセットすると「DVD-RW」と表示されます。

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

- 本機は音楽 CD フォーマット、ビデオ CD フォーマット、MP3やWMAの音楽データ、または JPEG の静止画像が記録された CD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起きることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただし、一部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

MP3 の再生について

- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 32kHz、44.1kHz、または 48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**[このフォーマットは再生できません]**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション（90 ページ）には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- フォルダー名、トラック名のアルファベット順に、499 フォルダー、999 トラックまで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックが認識・再生できない場合があります。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

WMA の再生について

- 外装箱に印刷された、Windows Media™ のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。
WMA とは、「Windows Media Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、

Windows Media Player Ver.8、または Windows Media Player for Windows XP を使用してエンコードすることができます。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- サンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルやサンプリング周波数が32kHzでも記録ビットレートが 20kbps の WMA ファイルでは**[このフォーマットは再生できません]**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)、またはロスレスエンコーディング(loss-less encoding)には対応していません。
- DRM コピープロテクト（保護）のかかった WMA ファイルは再生できません。
- 「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついた WMA ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション（90 ページ）には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- フォルダー名、トラック名のアルファベット順に、499 フォルダー、999 トラックまで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックが認識・再生できない場合があります。
- WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation の認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードして下さい。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

JPEG の再生について

- JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 本機では、フジカラー CD、コダックピクチャー CD、または CD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。
- 総ピクセル数が 8M ピクセル以下(縦横の解像度がそれぞれ5120ピクセル以下)のベースラインJPEGファイル、およびExif 2.1 *4（90 ページ）に準拠した JPEG ファイルの静止画再生に対応しています。
- 「.jpg」、または「.JPG」という拡張子がついた JPEG ファイルの静止画像を表示することができます。
- フォルダー名、ファイル名のアルファベット順に、499 フォルダー、999 ファイルまで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、ファイルが認識・再生できない場合があります。
- ファイルサイズが大きいファイルは画像の再生に時間がかかることがあります。

*4 *デジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格(Exif)Ver2.1、JEIDA-49-1998 (社)電子情報技術産業協会 JEITA*

注 意

◆ レコーダー、またはパソコンで記録した DVD-R/DVD-RW ディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。

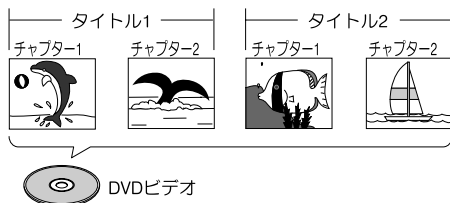
◆ パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。

◆ 本機はファイナライズしていない音楽 CD フォーマットの CD-R/CD-RW ディスクに対応しています。ただし、一部の時間情報が表示されないことがあります。音楽 CD フォーマット以外のファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。ノイズが発生することがあります。

◆ 詳しい CD-R/CD-RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

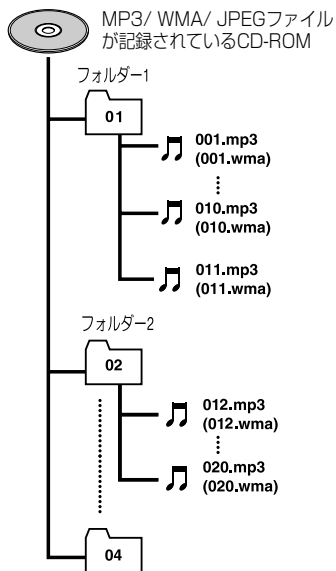
タイトルとチャプターについて

DVD ではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています（DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません）。
DVDビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が 1 つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように 1 曲が 1 タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

DVDビデオ

トラックについて

CDやビデオCDでは、ディスクをトラックという単位で分けています（一般的には、1 曲が 1 つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります）。

WMA/MP3/JPEG について

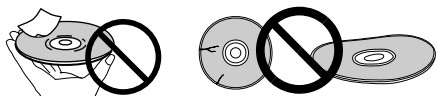
WMA/MP3のフォルダー/トラックの名前や、JPEG のフォルダー/ファイルの名前を表示することができます(半角英数字で入力された文字のみ)。半角英数字以外で入力されているフォルダー/トラック/ファイルの名前は[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。

DVD/CD ディスクの取り扱いかた

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付くと、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形など）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、**「保証とアフターサービス」**（103 ページ）をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

その他 11 DVDのディスクジャケットについて

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVD ビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVD ビデオ（DVD-VIDEO）のディスクジャケットの例

① ディスクに記録されている**音声の数と種類・音声トラック方式**を示しています(音声の切り換えは、12、61 ページをご覧ください)。
上記の場合、英語音声はドルビーサラウンド（ドルビープロロジックサラウンド）で、日本語音声は5.1ch のドルビーデジタルサラウンドで再生されます。

② 再生可能な**テレビ画面サイズや見えかた**を示しています。このディスクの場合、16：9の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されおり、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます(7、59 ページ)。

③ ディスクに記録されている字幕の数と言語などの種類を示しています(字幕の切り換えは、13、61 ページをご覧ください)。
DVD ビデオでは最大 32 種類の字幕を記録することができます。

④ ディスクの**地域番号（リージョンナンバー）**です。
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号（リージョンナンバー）が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機（日本向け）の再生可能地域番号は２番で、ディスクに記載された地域番号が２番を含むか「ALL」となっている場合に再生が可能です。

その他のマーク

舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVDビデオでは、最大9つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いたDVDビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます（41 ページ）。

メ モ

▼ DVD ビデオの音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニア PCM」の３つが現在主流となっています。

ドルビーデジタルとは. .

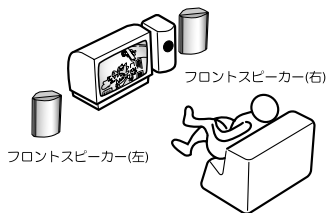
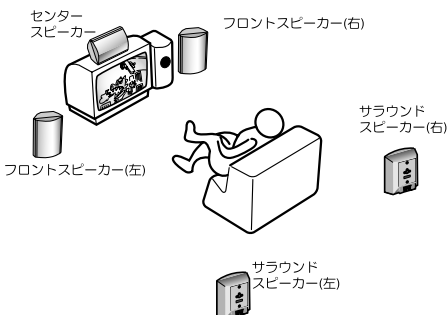
DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流となっている5.1ch サラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル（5.1ch サラウンド）で記録されているソフトとは、5つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことを言います。

DTS とは..*

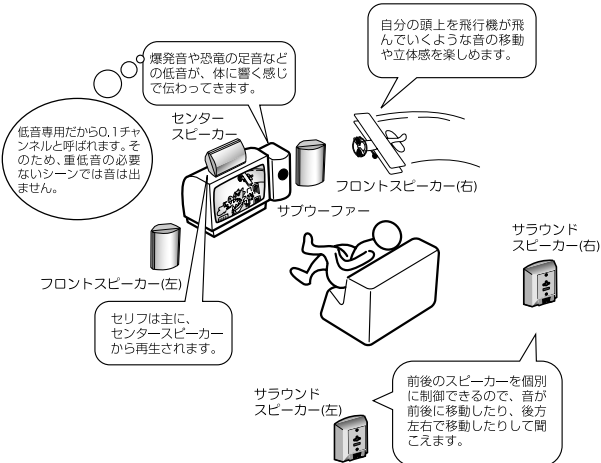
DTSとはデジタルシアターシステム（Digital Theater System）の略で、5.1chのデジタル・サラウンド録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式で、DVDビデオのオプション音声タイプとして認められています。DTSデジタル・サラウンドで記録されたDVDソフトも、ドルビーデジタル（5.1ch サラウンド）で記録されているソフトと同様に5.1chで音声を楽しむことができます。

リニアPCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートライブなどを収録したDVDビデオの場合によく使われます。48kHz/16bit、96kHzなどの表示があることもあります。

- **ステレオ再生とは..**
  左右2つのスピーカーとサブウーファーから別々の音声を再生することです。DVDビデオのステレオ音声や通常の音楽用CD（ステレオ2chで録音されています）は、5本のスピーカーとサブウーファーが接続されていても、音はフロントスピーカーとサブウーファーからしか再生されません。

- **ドルビープロロジックサラウンド再生とは..**
  ソフトのパッケージにドルビーサラウンド(DOLBY SURROUND)と表記されているソフトを、5本のスピーカーとサブウーファーで再生することです。ただし、サラウンドスピーカーは左右同じ音（モノラル）で再生されます。（ドルビープロロジックIIの場合は、ステレオで再生されます。）

- **ドルビーデジタル5.1chまたはDTSサラウンド再生とは..**
  ドルビーデジタル（5.1chサラウンド）またはDTSサラウンドで記録されているソフトを、5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ別々の音で再生することです。5.1ch独立で音声が記録されているため、立体感のある音場で臨場感あふれる音声が楽しめます。

** ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。*

*** "DTS" および "DTS Digital Surround" は米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国 Digital Theater Systems, Inc. からの実施権に基づき製造されています。*

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは４：３ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16:9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

アッテネーター
「減衰器」とも呼ばれ、外部機器から入力した信号を正確に減衰させるための回路です。出力音声が歪んでいる場合、改善することができます。

インターレース（飛び越し走査）
映像の1画面を半分ずつ2回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて１画面(フレーム)を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。通常、解像度の数字の後ろに「i」を付けて（525iなど）表記します。

映像出力（コンポジット）
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して１本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル（dB）単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です（アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります）。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ(順次走査)
映像の１画面を２回に分けずに１画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます。通常、解像度の数字の後ろに「p」を付けて（525pなど）表記します。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の１つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っていますので、視聴者側で視点(カメラ)を選ぶことはできません。DVDビデオには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。DVDビデオではアングルを最大9つまで記録することができます。

マルチ音声言語
DVDビデオの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDビデオでは音声を最大８言語(８ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語（サブタイトル）
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDビデオでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-RやCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョンNo.
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクは発売地域ごとに地域番号（リージョンNo.）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です（本体後面部に表記されています）。

D端子
デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号（Y、CB/PB、CR/PR）と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を1つのコネクタで接続する端子です。

DRMコピープロテクト
DRM（Digital Rights Management）コピープロテクトは著作権保護のための技術で、無許可の複製を防止するため録音時に使用したPCなどの機器以外での再生を制限するなどの機能です。詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

PCM
Pulse Code Modulationの略で、圧縮していない2チャンネルステレオデジタル音声です。CDのデジタル音声はほとんどこの方式です。DVDの音声記録方式の1つでもありますが、CDのサンプリング周波数が44kHzであるのに対し、DVDのサンプリング周波数は48kHzや96kHzと高いので、DVDの方がより高音質の音声を楽しめます。

DVDビデオフォーマット記録
DVD VIDEO、またはDVD VIDEOマークの付いている市販のDVDビデオディスクと同じ方式(フォーマット)でDVD-R/DVD-RWディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
パイオニアのDVDレコーダーではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、高画質で録画するモードと、長時間で録画するモードがあります。

Exif
Exchangeable Image File Formatの略でエグジフと読みます。富士写真フイルムが開発したデジタルスチールカメラ用のファイルフォーマットです(JEIDA規格)。撮影日などの撮影や画像に関する情報とサムネイル画像が収録できるように拡張されているファイルフォーマットです。

F-Disc（エフディスク）
8mmフィルムで撮った映像をDVDディスクに記録したものです。

お問い合わせ先：
(株) フジカラーサービス
　　コンシューマーフォト部
　　電話：03-5571-5333

GUI
Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

JPEG
JPEGとは、ITU-TS（国際電気通信連合: 旧CCITT）とISO（国際標準化機構）で定められた、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式（画像フォーマット）のひとつです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子がつきます。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

MP3
MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー３というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと３文字のアルファベットで構成されています。

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVDビデオの映像やビデオCDの映像/音声は、この方式で記録されています。DVDビデオの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

S1映像出力
S1とは映像のアスペクト比（4:3、16:9）の識別信号の入ったS映像信号です。

S2映像出力
S1に加え画像信号形態(レターボックス、パンスキャン)の識別信号の入ったS映像信号です。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

VRモード（ビデオレコーディングフォーマット）記録
映像、および音声信号をDVD-RWレコーダーでDVD-RWディスクの不特定な位置に即時書き込み*することをいいます。(*即時書き込み＝パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク(リムーバブルメディア)に書き込まず、一度メモリーに記憶します。その後、CPU（OS）が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。)
パイオニアのDVDレコーダーではこれをVRモード記録といいます。VRモードには、標準な画質で録画するモードと画質、および録画時間を自由に設定して録画するモードがあります。

WMA
「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.8、またはWindows Media Player for Windows XPを使用してエンコードすることができます。
Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
WMAファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

3/2.1CH
3/2.1はディスクに記録されているチャンネル数を表しています。

例）5.1CHの場合
- フロントチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル[(1CH)]
- サラウンドチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- LFE*1チャンネル[1CH × 0.1*2 = 0.1CH]

*1: 重低音強調効果の意
*2: 音声全体に対して低音が占める割合

GUI画面には下記のように表示されます。

ドルビープロロジックサラウンド再生
2ch サラウンド信号や 2ch ステレオ信号をドルビープロロジック回路を通し、マルチチャンネルサラウンドで再生することです。2ch サラウンド信号については圧縮された信号を忠実にデコード（再生）し、2ch ステレオ信号については２チャンネル分の信号からセンター、サラウンドチャンネルの信号をつくりだします。ただし、この再生方式ではサラウンドチャンネルはモノラルであるため、左右のサラウンドスピーカーからは同じ音声が出力されます。

ドルビープロロジック II サラウンド再生
ドルビープロロジック II は、ドルビープロロジックをさらに改良し、ステレオ音声を5.1ch に拡張して再生するためのマトリックスデコード技術です。ステアリングロジック回路により、全可聴帯域のメイン 5ch を作り出します。CD のような通常のステレオ音楽素材に対してもより優れた立体音場効果、包囲感、より明確な定位をもたらし、ドルビーサラウンドエンコードされた素材はディスクリート5.1chに匹敵する移動感をも実現できるものです。

■プロロジックとプロロジックIIの違い

	プロロジック	プロロジックII
効果的なソース	ドルビーサラウンドエンコード処理されたステレオ音声	すべてのステレオ音声
デコードチャンネル数	4.1ch（サラウンド モノラル）	5.1ch（サラウンド ステレオ）
周波数特性	サラウンド 7kHz帯域制限	全チャンネル フルバンド

マルチチャンネルサラウンド再生
３本以上のスピーカーでサラウンド再生することです。音声信号が３チャンネル以上の録音方式で記録されているソフトについてはソフトに忠実に再生します。なかでも5.1chサラウンド信号の再生については、左右のサラウンドスピーカーからもそれぞれ異なる音声が出力されるので、ドルビープロロジックサラウンド再生に比べ、より立体感のある音場で迫力のある臨場感がお楽しみいただけます。

デコード
ドルビーデジタル、DTS、MPEG-2 AACなどの圧縮されたデジタル信号を解凍して再生することです。

MPEG-2 AAC（Advanced Audio Coding）
MPEG-2 オーディオの標準方式の一つで、BS デジタル放送で採用されている音声符号化規格です。低ビットレートでかつ高音質を確保できる点が特長で、番組内容によりマルチチャンネル設定が可能なフォーマットです。以下が米国パテントナンバーです。

08/937,950
5848391
5,291,557
5,451,954
5 400 433
5,222,189
5,357,594
5 752 225
5,394,473
5,583,962
5,274,740
5,633,981

5,481,614
5,592,584
5,781,888
08/039,478
08/211,547
5,703,999
08/557,046
08/894,844
5,299,238
5,299,239
5,299,240
5,197,087

5 297 236
4,914,701
5,235,671
07/640,550
5,579,430
08/678,666
98/03037
97/02875
97/02874
98/03036
5,227,788
5,285,498

5,490,170
5,264,846
5,268,685
5,375,189
5,581,654
05-183,988
5,548,574
08/506,729
08/576,495
5,717,821
08/392,756

(本体表示部) **RecMode On**

76ページで録音モードがオンに設定されているときに、以下のボタン操作を行うと表示されます。録音モードをオフにしてから操作してください。

・サラウンド　・アドバンスド
・ダイアログ　・バーチャルSB
・フロントサラウンド　・バスモード
・マナー/ミッドナイト
・テストトーン　・ルーム設定

(本体表示部) **Child Lock**

72ページのチャイルドロック機能がセットされているときに、本機の操作ボタンを使用すると、表示されます。チャイルドロック機能がセットされているときは、本体の操作ボタンは使用することはできません。解除してから操作してください。

(本体表示部) **Phones In**

ヘッドホンを挿入しているときに、以下のボタン操作を行うと表示されます。

・バーチャルSB　・バスモード
・テストトーン　・CHレベル

(本体表示部) **96k Stereo**

88.2/96kHzリニアPCM信号を入力しているときに、以下のボタン操作を行うと表示されます。

・サラウンド　・アドバンスド
・フロントサラウンド　・ダイアログ
・バーチャルSB

(本体表示部) **MPEG-2 AAC**

MPEG-2 AAC信号を入力しているときに、以下のボタン操作を行うと表示されます。

・ダイアログ　・バーチャルSB

(本体表示部) **No Surr. SP**

サラウンドチャンネルが記録されていないステレオソースをオートモードで再生中に、バーチャルSBボタンを押すと表示されます。また、ステレオモードを選択しているときにバーチャルSBボタンを押すと表示されます。

(本体表示部) **Muting**

ミューティング中にテストトーンボタンを押すと表示されます。

(本体表示部) **Exit**

各種メニューを表示中に、そのメニューを表示することが禁止されている信号が入力されたときに表示され、通常表示に戻ります。

(本体表示部) **Tray Lock**

⏏OPEN/CLOSEボタンを8秒以上押して、「LOOK OFF」を表示させせると、ディスプレイテーブルを開閉することができます。

(本体表示部) **SR+ Error**

SR+ケーブルを接続していないときに**PDP連動ボタン**を押すとSR+Checkと表示されたあと、SR+Errorと表示されます。

(本体表示部) **Sound Demo**

本体の**■ボタン**を5秒間押し続けてください。ディスクトレイが自動的に開いてサウンドデモモードが解除されます。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
	すべてに共通	
音が出ない。	• すべてのコードが完全に接続されていますか？接続のしかたを参照して、正しく接続してください。 • スピーカーコードがショート（接触）していませんか？スピーカーコードの芯線をしっかりとねじり、もう一度スピーカー端子に接続し直してください。 • ミューティング状態になっていませんか？リモコンの消音ボタンを押してください。 • 音量がゼロになっていませんか？音量を調整してください。 • ディスクが汚れていませんか？ディスクをクリーニングしてください。 • 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？ • ヘッドホンが挿入されていませんか?ヘッドホンを抜いてください。	**セットアップガイド** **セットアップガイド** **19 ページ** **19 ページ** **86 ページ** **24~25 ページ** **16 ページ**
サラウンドまたはセンタースピーカーから音が出ない。	• スピーカーは正しく接続されていますか？もう一度接続を確認してください。 • ステレオ再生になっていませんか？リスニングモードを切り換えてマルチチャンネル再生5.1chにしてください。 • デジタル音声出力の設定のデジタル音声モードが「DDDIGITAL>PCM」になっていませんか？「DDDIGITAL」にしてください。	**セットアップガイド** **45 ページ** **58 ページ**
テストトーンが出てこないスピーカーがある。	• スピーカーの接続が外れていませんか？ 確認してください。 • 表示窓を確認してください。テストトーン出力中にのように点灯しているときはフロントL/R とサブウーファーからのみテストトーンが出力されます。すべてのスピーカーからテストトーンを出力したいときは5.1chのモードを選択してからもう一度やり直してください。	**セットアップガイド** **70 ページ**
テストトーンがまったく出ない。	• スピーカーの接続が外れていませんか？ 確認してください。 • ミューティング状態になっていませんか？リモコンの消音ボタンを押してください。 • ヘッドホンが挿入されていませんか？ヘッドホンを抜いてください。	**セットアップガイド** **19 ページ** **16 ページ**

症状	原因 / 対策	参照ページ
設定した内容が消えてしまった。	• 本体の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず本体の⏻STANDBY/ON ボタン、またはリモコンの⏻電源ボタンを押して、表示窓の[Good Bye]表示が消えてから抜いてください。特に他機器のACアウトレットから電源コードを接続しているときはご注意ください。	
本体の操作ボタンを押しても動作しない。	• チャイルドロック機能が、オンに設定されていませんか？チャイルドロック機能をオフに設定してください。	**72 ページ**
DVD/CD 関係		
画面が止まり、操作ボタンを受け付けない。	• 本体の内部が結露していませんか?しばらく放置してください。 • 一度、■ボタンを押してから、もう一度再生してください。	**101 ページ**
ディスクトレイを閉めても出てきたり、再生ができない。	• ディスクが極端に汚れていませんか?ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクはディスクトレイに正しくセットされていますか？ディスクを正しくセットしてください。 • リージョンNO.は一致していますか？リージョン「2」か「ALL」のディスクを使用してください。 • ディスクを表裏逆に入れていませんか?ディスクを正しくセットしてください。	**86 ページ** **8 ページ** **87, 90 ページ** **8 ページ**
映像が映らない。	• 映像出力端子、またはS1/S2映像出力端子にのみ接続しているとき、またはプログレッシブ入力に対応していないテレビとD映像接続(74 ページ)しているときに**[プログレッシブ]**を選択していませんか？映像出力方式を**[プログレッシブ]**から**[インターレース]**に変更してください。映像が何も表示されなくなった場合は60ページの注意をご覧になりインターレースに切り換えてください。 • ビデオコードは十分差し込まれていますか？しっかりと差し込んでください。 • 接続しているビデオコードが断線していませんか？ビデオコードを変えて接続してみてください。	**59~60 ページ**
DVD の音声や字幕が切り換わらない。	• ディスクには複数の字幕や音声が記録されていますか？DVD ディスクのジャケットを確認してください。 • リモコンの音声ボタンや字幕ボタンで切り換わらないDVDディスクがあります。そのときは、DVDのメニュー画面で切り換えてください。	**87 ページ** **61 ページ**
画面が縦または横に伸びる、またはアスペクトが切り換わらない。	• テレビ画面とのアスペクト比の設定は合っていますか？テレビ画面のアスペクト比の設定をしてください。 • S1 と S2 の設定が、ご使用のテレビの S 端子と合っていますか？ S 出力を S1 に設定してください。	**7,59 ページ** **60 ページ**

症状	原因 / 対策	参照ページ
DVD 再生中に画像が乱れる、または暗い。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
DVD 映像をＶＴＲに録画したり、VTRを通して再生すると再生画像が乱れる。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを VTR を通して再生したり、VTR に録画して再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。	
ＣＤ または ＷＭＡ／ＭＰ３ が再生できない。	• **[フォトビューワー]**の設定を**[オフ]**にしてみてください。	**63 ページ**
JPEGファイルを記録したディスクを再生することができない。	• **[フォトビューワー]**の設定を**[オン]**にしてみてください。	**63 ページ**
WMA/MP3 ファイルを記録したディスクを再生することができない。	• 本機に対応したフォーマットのディスクを再生していますか？「再生できるディスクについて」をご確認ください。	**83 ページ**
DVD と CD で音量差を感じる	• これはディスクの記録方式の違いによるものです。故障ではありません。	
本機をビデオ内蔵テレビに接続してDVDを再生すると映像が乱れる。	• ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	
ディスクに記録されているトラック(ＭＰ３ファイル)を選択することができない。	• 本機に対応したフォーマットのディスクを再生していますか？「再生できるディスクについて」をご確認ください。	**83 ページ**
９６ｋＨｚ のデジタルオーディオが出力されない。	• コピー保護など、いくつかの DVD では 96kHz オーディオは出力しません。この場合 96kHz が選択されていても出力は自動的に 48kHz になります。これは故障ではありません。 • [96kHzPCM出力]の設定で[96kHz>48kHz]が選択されていないか確認してください。 • 著作権保護がされているディスクでは 96kHz 音声のデジタル出力が禁止されています。	**58 ページ**

症状	原因 / 対策	参照ページ
放送関係		
放送が聞こえない、聞き苦しい。	• アンテナは接続されていますか？アンテナを正しく接続してください。 • アンテナの向き、位置は悪くなっていませんか？アンテナの向きや位置を調整してください。 • 電気器具（蛍光灯、ドライヤーなど）を使用していませんか？雑音を発生させる機器の使用をやめてください。	セットアップガイド セットアップガイド
FM 放送がステレオなのにステレオにならない。	• 表示部のモノインジケーターが点灯していませんか？"FM Mode" の設定を Auto にしてください。	29 ページ
外部機器関係		
B S デジタルチューナーからの音が、マルチチャンネル再生にならない。	• 表示部のAACインジケーターが点灯していますか？BSデジタルチューナー（またはBSデジタルチューナー内蔵テレビ）の音声出力設定で、MPEG-2 AAC 信号を出力するように設定してください。 • 放送がマルチチャンネル放送（5.1ch）ですか？ステレオ放送やモノラル放送のときは、リスニングモードを 5.1ch のモードに切り換えて、マルチチャンネル再生にしてください。	17 ページ 47 ページ
デュアルモノの設定をしても BS デジタル放送の二か国後音声が切り換わらない。	• 入力信号がデュアルモノフォーマットのときのみデュアルモノ設定は有効です。それ以外のときは、BS チューナー側（テレビ側）で操作を行ってください。	
LINE1、テレビに接続した機器からの音がひずむ。	• 接続した機器からの出力レベルが大きくなっていませんか？入力アッテネーターを“ATT 6dB”または“ATT 10dB”にしてください。	76 ページ
LINE1 に接続した機器からの音が出ない。	• 正しく接続されているか、もう一度確認してください。 • LINE ボタンを押して、LINE1 にしてください。	75 ページ 75 ページ
テレビに接続した機器からの音が出ない。	• 正しく接続されているか、もう一度確認してください。 • TV ボタンを押してください。	75 ページ 75 ページ
その他		
タイマーが作動しない。	• 現在時刻の設定はされていますか？現在時刻を設定してください。	22 ページ
リモコンがきかない。	• リモコンの電池はなくなっていませんか？新しい電池に換えてください。 • 蛍光灯がリモコン受光部の近くにありませんか？蛍光灯をリモコン受光部から離してください。 • 7m以内、左右30°以内で、リモコンを本機に向けて操作してください。 • 本機とリモコンとの間に、信号を遮る障害物がありませんか?障害物を取り除くか、操作する場所を移動してください。 • 操作したいテレビのリモコンコードが設定されていないと、本機のリモコンでテレビを操作することはできません。	セットアップガイド 16 ページ 16 ページ 23 ページ

症状	原因 / 対策	参照ページ
リモコンがきかない。	• SR+ケーブルを本機のコントロール入力端子に接続すると、本機のリモコン受光部は信号を受け付けません。リモコン操作をするときはリモコンをプラズマディスプレイのリモコン受光部に向けてください。	
タイマーインジケーターが緑色に点滅して、電源が入らず何の操作もできない。	• 電源コードを抜いてからスピーカーコードがスピーカー端子からはみ出してリアパネルとショートしていないか、サブウーファーのリアにあるファンに異物がはさまっていないか確認してみてください。再び電源コードを差し込んでから1分後に ⏻ 電源ボタンを押して電源を入れてみてください。それでも、本機の電源が入らず何の動作もしないときは、最寄りの弊社サービスステーションに連絡してください。	
「Sound Demo」と表示され本機の操作ができない。	• 本体の■ボタンを５秒間押し続けてください。ディスクトレイが自動的に開いてサウンドデモモードが解除されます。	
設定した内容が、すべてクリアされている。	• 2、3日、電源コードを抜いたままにしておくと、設定した内容はクリアされてしまいます。再設定してください。	
動作しない。	• 電源コードが外れていませんか？電源コードを正しく接続してください。	セットアップガイド

• 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

マルチチャンネル再生にならないときは

マルチチャンネル（5.1ch）再生にならないときは、以下を確認してみてください。案外簡単なミスや勘違いをしていることもあります。

1. サラウンドボタンを押して、オートモードを選ぶ（46ページ）

再生している音声に応じたサウンドモードに自動で切り換わります。

2. テストトーンを出力してみる（70ページ）

すべてのスピーカーからテストトーン（ザーという音）が出力されていることを確認してください。テストトーンが出力されないスピーカーがあるときは、接続をもう一度確認かめてから、もう一度テストトーンを出力してみてください。

3. 5.1chのリスニングモードを選択する（46、49～50ページ）

ステレオソースもマルチチャンネルにして再生します。

メモ

▼ 複数の音声が収録されているDVDディスクの場合、再生している音声によって、ステレオ再生またはマルチチャンネル再生になります。（87ページ）

リモコンコード表（TVコントロール）

メーカー	コード
ACURA	644
ADMIRAL	631
AIWA	660
AKAI	632, 635, 642
AKURA	641
ALBA	607, 639, 641, 644
AMSTRAD	642, 644, 647
ANITECH	644
ASA	645
ASUKA	641
AUDIOGONIC	607, 636
BASIC LINE	641, 644
BAUR	631, 607, 642
BEKO	638
BEON	607
BLAUPUNKT	631
BLUE SKY	641
BLUE STAR	618
BPL	618
BRANDT	636
BTC	641
BUSH	607, 641, 642, 644, 647, 656
CASCADE	644
CATHAY	607
CENTURION	607
CGB	642
CIMLINE	644
CLARIVOX	607
CLATRONIC	638
CONDOR	638
CONTEC	644
CROSLEY	632
CROWN	638, 644
CRYSTAL	642
CYBERTRON	641
DAEWOO	607, 644, 656
DAINICHI	641
DANSAI	607
DAYTON	644
DECCA	607, 648
DIXI	607, 644
DUMONT	653
ELIN	607
ELITE	641
ELTA	644
EMERSON	642
ERRES	607
FERGUSON	607, 636, 651
FINLANDIA	635, 643, 655
FINLUX	632, 607, 645, 648, 653, 654, 655
FIRSTLINE	640, 644
FISHER	632, 635, 638, 645
FORMENTI	632, 607, 642
FRONTECH	631, 642, 646
FRONTECH /PROTECH	632
FUJITSU	648, 629
FUNAI	640, 646, 658
GBC	632, 642
GE	601, 608, 607, 610, 617, 602, 628, 618
GEC	607, 634, 648
GELOSO	632, 644
GENEXXA	631, 641
GOLDSTAR	610, 623, 621, 602, 607, 650
GOODMANS	607, 639, 647, 648, 656
GORENJE	638
GPM	641
GRAETZ	631, 642
GRANADA	607, 635, 642, 643, 648
GRADIENTE	630, 657
GRANDIN	618
GRUNDIG	631, 653
HANSEATIC	607, 642
HCM	618, 644
HINARI	607, 641, 644
HISAWA	618
HITACHI	631, 633, 634, 636, 642, 643, 654, 606, 610, 624, 625, 618
HUANYU	656
HYPSON	607, 618, 646
ICE	646, 647
IMPERIAL	638, 642
INDIANA	607
INGELEN	631
INTERFUNK	631, 632, 607, 642
INTERVISION	646, 649
ISUKAI	641
ITC	642
ITT	631, 632, 642
JEC	605
JVC	613, 623
KAISUI	618, 641, 644
KAPSCH	631
KENDO	642
KENNEDY	632, 642
KORPEL	607
KOYODA	644
LEYCO	607, 640, 646, 648
LIESENK&TTER	607
LOEWE	607
LUXOR	632, 642, 643

メーカー	コード
M-ELECTRONIC	631, 644, 645, 654, 655, 656, 607, 636, 651
MAGNADYNE	632, 649
MAGNAFON	649
MAGNAVOX	607, 610, 603, 612, 629
MANESTH	639, 646
MARANTZ	607
MARK	607
MATSUI	607, 639, 640, 642, 644, 647, 648
MCMICHAEL	634
MEDIATOR	607
MEMOREX	644
METZ	631
MINERVA	631, 653
MITSUBISHI	609, 610, 602, 621, 631
MULTITECH	644, 649
NEC	659
NECKERMANN	631, 607
NEI	607, 642
NIKKAI	605, 607, 641, 646, 648
NOBLIKO	649
NOKIA	632, 642, 652
NORDMENDE	632, 636, 651, 652
OCEANIC	631, 632, 642
ORION	632, 607, 639, 640
OSAKI	641, 646, 648
OSO	641
OSUME	648
OTTO VERSAND	631, 632, 607, 642
PALLADIUM	638
PANAMA	646
PANASONIC	631, 607, 608,642, 622
PATHO CINEMA	642
PAUSA	644
PHILCO	632, 642
PHILIPS	631, 607, 634, 656
PHOENIX	632
PHONOLA	607
PROFEX	642, 644
PROTECH	607, 642, 644, 646, 649
QUELLE	631, 632, 607, 642, 645, 653
R-LINE	607
RADIOLA	607
RADIOSHACK	610, 623, 621, 602
RBM	653
RCA	601, 610, 615, 616, 617, 618, 661, 662, 609
REDIFFUSION	632, 642
REX	631, 646
ROADSTAR	641, 644, 646
SABA	631, 636, 642, 651
SAISHO	639, 644, 646

メーカー	コード
SALORA	631, 632, 642, 643
SAMBERS	649
SAMSUNG	607, 638, 644, 646
SANYO	635, 645, 648, 621, 614
SBR	607, 634
SCHAUB LORENZ	642
SCHNEIDER	607, 641, 647
SEG	642, 646
SEI	632, 640, 649
SELECO	631, 642
SHARP	602, 619, 627
SIAREM	632, 649
SIEMENS	631
SINUDYNE	632, 639, 640, 649
SKANTIC	643
SOLAVOX	631
SONOKO	607, 644
SONOLOR	631, 635
SONTEC	607
SONY	604
SOUNDWAVE	607
STANDARD	641, 644
STERN	631
SUSUMU	641
SYSLINE	607
TANDY	631, 641, 648
TASHIKO	634
TATUNG	607, 648
TEC	642
TELEAVIA	636
TELEFUNKEN	636, 637, 652
TELETECH	644
TENSAI	640, 641
THOMSON	636, 651, 652, 663
THORN	631, 607, 642, 645, 648
TOMASHI	618
TOSHIBA	605, 602, 626, 621, 653
TOWADA	642
ULTRAVOX	632, 642, 649
UNIVERSUM	631, 607, 638, 642, 645, 646, 654, 655
VESTEL	607
VICTOR	613
VOXSON	631
WALTHAM	643
WATSON	607
WATT RADIO	632, 642, 649
WHITE WESTINGHOUSE	607
YOKO	607, 642, 646
ZENITH	603, 620
PIONEER	600, 631, 632, 607, 636, 642, 651

使用上のご注意

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに本体の⏻STANDBY/ON ボタン(またはリモコンの⏻電源ボタン)を押し、表示窓の[Good Bye]表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

製品のお手入れについて

- 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

結露について

- 冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
  夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

初期設定一覧

視聴制限のお買い上げ時の設定は、暗証番号未設定、レベル変更オフ、国コードは日本の設定となっています。

本機では、画面表示にＮＥＣのフォント「Font Avenue」を使用しています。
Font Avenue は NEC の登録商標です。

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻す

1. **電源をオフにして、スタンバイ状態にします**

電源が入っているときは、⏻電源ボタンを押します。

2. **本体の■ボタンを8 秒間押します**

以下のように表示されます。

Mem. Clr.?

3. **本体の▶/❚❚ ボタンを押します**

▶/❚❚ DVD/CD

電源がオンになり、設定した内容がすべてお買い上げ時の状態に戻ります。

注 意

◆ 初期化すると、記憶していたすべてのメモリーが同時に消去されます。初期化するときは十分にご注意ください。

メ モ

▼ 初期化すると、6ページの画面が最初に表示されます。

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後８年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買上げの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、別添の修理受付センターにご相談ください。
所在地、電話番号は別添の「修理窓口・ご相談窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

94～98ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DVD 5.1ch サラウンドシステム
- 型番：HTZ-323DV
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い：

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、故障や事故防止のため電気店またはお近くのパイオニアサービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。

DVD/CD チューナー部 (XV-DV323)

■ アンプ部

実用最大出力（JEITA）
フロント（1 kHz、10 %、6 Ω）
......100W x 2
サラウンド（1 kHz、10 %、6 Ω）
......100W x 2
センター（1 kHz、10 %、6 Ω）... 100W
サブウーファー（100 Hz、10 %、6 Ω）
...... 100W

■ DVD 部（音声）

周波数特性
48 kHz サンプリング ......4 Hz ～ 22 kHz
96 kHz サンプリング ......4 Hz ～ 44 kHz
ワウ・フラッター ......測定限界以下
（± 0.001 % W.PEAK）

■ DVD 部（映像）

映像出力
出力レベル ... 1 Vp-p（75 Ω負荷時、同期負）
出力端子 ...... RCA 端子

S1/S2 映像出力
映像 Y 出力レベル ...... 1 Vp-p（75 Ω）
映像 C 出力レベル ...... 286 mVp-p（75 Ω）
出力端子 ...... S 端子

D2 映像出力（Y、C_B/P_B、C_R/P_R）
映像 Y 出力レベル ...... 1 Vp-p（75 Ω）
映像 C_B/P_B、C_R/P_R 出力レベル
...... 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 ...... D 端子

■ DVD 部（その他の端子）

光デジタル入力（PCM/DD/DTS）
...... 光入力コネクター
光デジタル出力（PCM/DD/DTS）
...... 光出力コネクター

■ チューナ部

FM チューナ部
受信周波数 ...... 76.0 ～ 90.0 MHz
アンテナ ...... 75 Ω不平衡型
AM チューナ部
受信周波数 ...... 522 kHz ～ 1,629 kHz
アンテナ ...... ループアンテナ（付属）

■ 電源部

電源電圧 ...... AC100 V、50/60 Hz
消費電力 175W
スタンバイ消費電力 0.5W

■ その他

外形寸法 ...... 420 X 70 X 396 mm
（幅）X（高さ）X（奥行）
質量 ...... 7.0 kg
許容動作温度 ...... ＋ 5 ℃～＋ 35 ℃
許容動作湿度 .. 5 %～ 85 %(結露のないこと)

スピーカーシステム部 (S-DV323)

フロントスピーカー
型式 ...... 密閉式ブックシェルフ型
防磁設計（JEITA）
使用スピーカー
フルレンジ ...... 10 × 7 cm（コーン型）
公称インピーダンス ...... 6 Ω
再生周波数帯域 ...... 90 ～ 20,000 Hz
最大入力 ...... 100 W（JEITA）
外形寸法 ...... 105 X 158X 83 mm
（幅）X（高さ）X（奥行）
質量 ...... 0.8 kg

センタースピーカー

型式 .... 密閉式ブックシェルフ型
防磁設計（JEITA）
使用スピーカー
フルレンジ .... 10 × 7 cm（コーン型）
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 .... 78 ～ 20,000 Hz
最大入力.............................. 100 W（JEITA）
外形寸法....................... 240 X 87 X 79 mm
（幅）X（高さ）X（奥行）
質量 .... 0.85 kg

サラウンドスピーカー

型式 .... 密閉式ブックシェルフ型
防磁設計（JEITA）
使用スピーカー
フルレンジ .... 7 cm（コーン型）
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 .... 90 ～ 20,000 Hz
最大入力.............................. 100 W（JEITA）
外形寸法..................... 105 X 139X 83 mm
（幅）X（高さ）X（奥行）
質量 .... 0.55 kg

サブウーファー

型式 .... バスレフ式フロア型
(低磁気漏洩設計)
使用スピーカー
ウーファー .... 16 cm（コーン型）
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 .... 35 ～ 2800 Hz
最大入力.............................. 100 W（JEITA）
外形寸法................. 108 X 420 X 390 mm
（幅）X（高さ）X（奥行）
質量 .... 5.0 kg

■ 付属品

リモコン 1
AM ループアンテナ 1
FM 簡易アンテナ 1
ビデオコード （1.5 m）................................ 1
単３形乾電池（AA/R6）................................ 2
電源コード 1
スピーカーコード
（5 m / フロントスピーカー用）............... 2
（5 m / センタースピーカー用）............... 1
（10 m / サラウンドスピーカー用）......... 2
（5 m / サブウーファー用）....................... 1
滑り止めパッド（小）................................. 20
滑り止めパッド（大）................................... 9
サブウーファースタンド................................ 3
フロントスピーカーの上フタ 2
サラウンドスピーカーの底フタ 2
壁掛け金具 2
取扱説明書
本編（本書）.. 1
システムセットアップガイド 1
スピーカー設置ガイド 1
修理窓口・ご相談窓口のご案内 1
安全上のご注意 1
保証書 1

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

修理窓口・ご相談窓口のご案内

ご購入後の製品の修理・お取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

＜ご注意＞市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルはPHS、携帯電話などからはご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）

受付　月曜～金曜　9：30～17：00、　土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

家庭用オーディオ／ビジュアル製品
(PDP・DVDなど)のご相談窓口　：**0070-800-8181-22**
：**【一般電話】03-5496-2986**

カタログのご請求窓口　：**0070-800-8181-33**

ファックス受付　：**03-3490-5718**

パイオニアホームページでのご案内

お問い合わせ先のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html*

カタログ請求とメールサービス登録のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

● **部品受注センター**

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、　土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

電話（フリーダイアル）　：**0120-5-81095**
一般電話　：**0538-43-1161**
ファックス（フリーダイアル）：**0120-5-81096**

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、必ず電源プラグを抜いてから、「保証とアフターサービス」をお読みになり、お買い求めの販売店へご連絡ください。
お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合は、修理受付センターへ。（沖縄県の方は、沖縄サービスステーションへ）

● **修理受付センター**（沖縄県を除く全国）

受付　月曜～金曜　9：30～20：00、　土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）

電話（フリーダイアル）　：**0120-5-81028**（ゴー パイオニア）
一般電話　：**03-5496-2023**
ファックス（フリーダイアル）：**0120-5-81029**

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00　（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

一般電話　：**098-879-1910**
ファックス　：**098-879-1352**

高調波ガイドライン適合品　D50-5-10-1_Ja

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<04B000001>　<XRA3019-A>